



旭地区 集落ビジョン2011～2015



35 集落 集落ビジョン 目次

浅野自治区

浅谷組	．．．	1 ～ 2	P
一色組	．．．	3 ～ 4	P
上切組	．．．	5 ～ 6	P
上中組	．．．	7 ～ 8	P
島崎組	．．．	9 ～ 10	P
下切組	．．．	11 ～ 12	P
下中組	．．．	13 ～ 14	P
須渕組	．．．	15 ～ 16	P

敷島自治区

明賀組	．．．	35 ～ 36	P
太田組	．．．	37 ～ 39	P
大坪組	．．．	41 ～ 42	P
押井組	．．．	43 ～ 45	P
加塩組	．．．	47 ～ 48	P
小田組	．．．	49 ～ 50	P
榊野組	．．．	51 ～ 52	P
杉本組	．．．	53 ～ 54	P
東萩平組	．．．	55 ～ 56	P

小渡自治区

小渡組	．．．	17 ～ 18	P
閑羅瀬組	．．．	19 ～ 20	P
田津原組	．．．	21 ～ 22	P
時瀬組	．．．	23 ～ 24	P
万町組	．．．	25 ～ 26	P

築羽自治区

旭八幡組	．．．	57 ～ 58	P
伊熊組	．．．	59 ～ 61	P
伯母沢組	．．．	63 ～ 64	P
日下部組	．．．	65 ～ 66	P
小畑組	．．．	67 ～ 68	P
惣田組	．．．	69 ～ 71	P
坪崎組	．．．	73 ～ 74	P
榎本組	．．．	75 ～ 76	P
余平組	．．．	77 ～ 78	P

笹戸自治区

有間町内会	．．．	27 ～ 28	P
池島町内会	．．．	29 ～ 30	P
市平町内会	．．．	31 ～ 32	P
笹戸町内会	．．．	33 ～ 34	P

浅谷組 集落ビジョン2011~2015

丸山に抱かれた美しい山郷 浅谷

- ① 丸山を、地域の憩いの場と都市住民との交流の場に整備します。
- ② 大切な農地を保全し、次世代に引き継ぎます。
- ③ 高齢者が、生きがいを持って安心して暮らせるまちをつくります。

強 み

- ① 集落の中央に里山「丸山」がある。
- ② 集落が、南向きの地に比較的連坦している。
- ③ 浅野会館及び足助消防署旭出張所等の公共施設並びにゴルフクラブ大樹がある。
- ④ 熟年会・丸山クラブ・8787-530会等、地域の活性化に取り組む団体が組織されている。

弱 み

- ① 資源たる「丸山」が、活用されていない。
- ② 県道豊田明智線の改良が進まないため、通過交通が少ない。
- ③ 高齢化と人口減少により、祭礼等の行事への影響及び耕作放棄地の増加が見られる。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 景 観 ・ 地 域 づ く り	＜丸山整備＞ 丸山に登山道を整備し、沿道及び頂上から順次サクラ、シダレモモ、イロハモミジ等の景観木を植栽する。					組	支 所 公園緑地協会 協賛企業
	【目的】 集落の中央に位置する「丸山」を、四季を通じて誰もが訪れたくなる里山に整備する。 将来は、飯盛山（足助）のような観光地にすることを目指す。						
	H23	H24	H25	H26	H27		
	目標 組織づくり 地権者の承諾取付け 支援者・企業の登録 除外木の伐採・片付け 整備計画立案 景観木の植栽 登山道整備（わくわく事業）						
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業 ・緑化推進事業							
② 景 観 ・ 地 域 づ く り	＜桃李の里整備＞ 地域の中央に位置し、耕作放棄されている畑に、スモモ、シダレモモ等を植栽する。合わせて、収穫時期に達しているスモモの商品化について研究する。					組	支 所 普及所
	【目的】 「桃李の里」として整備し、観光客の誘致を図る。また、地域で収穫できるスモモを活用して地域の活性化を図る。						
	H23	H24	H25	H26	H27		
	目標 組織づくり スモモの収穫・販売 商品化研究 地権者の承諾取付け スモモ・しだれ桃の植栽 整備計画立案 イベント開催						
	実績 浅谷 8787-530 会 結成						
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業							

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援	
③	農 地 の 保 全	《集落営農への取り組み》 農地保全のため、農業用施設の改修、獣害対策、農業機械の共同利用等を図る。				農事組合	農地整備課 農政課 土地改良区	
		【目的】 農業従事者の高齢化に伴い、耕作放棄地の拡大が懸念される。その防止のため、将来にわたって農業生産活動が持続できる体制を地域で整備する。						
		H23	H24	H25	H26	H27		
		農道舗装						
		川木用水改修		オオガヤ用水改修				
		電気牧柵、ワイヤーメッシュ柵の設置及び修繕						
④	生 き が い 農 業 の 推 進	狩猟免許取得者育成						
		中山間直接支払制度					次期制度申請	
		オペレーターの育成・登録						
		農業機械の共同購入について検討						
		実績						
		【活用できる市の制度・補助など】・山間地営農等振興事業 ・現材料支給事業						
⑤	高 齢 者 の 安 心 ・ 安 全	《農産物販売所の設置》 地域内非農家及びゴルフ客等へ、農産物等を販売するための直売所を設置する。				農事組合	支 所 普及所	
		【目的】 高齢者の生きがい対策及び農地の荒廃防止のため、農産物等が販売できる体制を整える。						
		H23	H24	H25	H26	H27		
		組織づくり		直売施設設置				
		直売施設の研究		保全管理田・遊休農地への作付け				
		余剰野菜の販売		農産物の販売				
⑥	高 齢 者 の 安 心 ・ 安 全	《緊急医療情報カードの設置》 ひとり暮らし高齢者宅等（昼間を含む。）の冷蔵庫に、緊急時に備えて救急医療情報カードを設置する。				自治区	民生委員 消防署	
		【目的】 ひとり暮らし高齢者宅等へ救急車が出動した場合、初期処置等に必要な情報が即時に取得できる体制を整え、高齢者の安心・安全を確保する。						
		H23	H24	H25	H26	H27		
		消防署と協議		民生委員による訪問指導（随時）				
		福祉生活改善部及び民生委員の支援		カードの更新（随時）				
		カード作成・設置						
実績								
【活用できる市の制度・補助など】								

一色組 集落ビジョン2011～2015

桜と緑とやさしさの里 一色

- ① 桜街道を整備し、伝統行事を守って訪れてみたくなる地域をつくれます。
- ② 高齢者が、安心して生活できる地域をつくれます。
- ③ 都市で生活する後継者との絆を強くし、リターンしやすい環境を整えます。

強 み

- ① 地域の絆が極めて強い。
 - ・「がんどうち」（雛祭りの子どもの行事）には、親密別居の孫が帰省してくる。
 - ・年2回、お汁粉祭りを開催している。
 - ・奉仕作業には、世帯数以上の参加がある。
 - ・集落の全世帯が「伊藤」姓である。
- ② 昔から優良な珪砂（陶土）が採れる。
- ③ 桜街道がある。

弱 み

- ① 高齢化に伴い、空き家の増加が懸念される。
- ② 水田が未整備のため、狭小かつ形状が悪く、耕作が難儀である。
- ③ 中山間地域直接支払制度に取組んでいない。
- ④ 移動に、ほとんど車を使用するため、近所とのふれあいが少なくなっている。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 景 観 ・ 地 域 づ くり	＜花街道づくり＞ 浅谷町から一色町へかけての桜並木で、所々枯れて途切れている箇所を補植する。また、市道旭一色上切線沿線にシダレモモを植栽する。					組	自治区 公園緑地協会
	【目的】 故伊藤 登氏の遺志を継いで桜街道を整備する。また、四季をとおして景観を楽しむため、イロハモミジ、サルスベリを植栽するとともに、浅野地域を「桃杏の里」とするため、シダレモモの植栽にも協力する。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			サクラ・イロハモミジ・サルスベリ・シダレモモの植栽 観桜会・草刈り等管理作業				
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・緑化推進事業							
② 高 齢 者 対 策	＜緊急医療情報カードの設置＞ ひとり暮らし高齢者宅等（昼間を含む。）の冷蔵庫に、緊急時に備えて救急医療情報カードを設置する。					自治区	民生委員 消防署
	【目的】 ひとり暮らし高齢者宅等へ救急車が出勤した場合、初期処置等に必要な情報が即時に取得できる体制を整え、高齢者の安心・安全を確保する。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			消防署と情報の 内容調整・カード 作成・設置	カードの更新（随時）			
				民生委員による訪問指導（随時）			
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
③ 次世代・転出者とのつながりのつくり	＜親密別居世帯づくり＞ 現在行っている雛祭りの「がんどうち」に加え、「観桜会」「お汁粉祭り」「秋の例大祭」等の組行事に、出身者を始め一色に縁のある人々の参加を呼びかける。					組	—
	【目的】 高齢者世帯の別居家族が、度々地区行事へ参加するために帰省することによって当該家族間の親密度が増す。合わせて、地区住民とも親密になれば、将来Ｕターンが期待できる。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		行事の内容検討 がんどうち・出身者への参加呼びかけ 観桜会・お汁粉祭り（春は豚汁・芋煮）等・出身者への参加呼びかけ					
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							
④ 農 業 対 策	＜農地を守る＞ 中山間地域直接支払制度の上切集落協定に入り、農地の荒廃防止を図る。					組	上切組 農政課
	【目的】 懸念される耕作放棄地の拡大を防止し、将来にわたって農業生産活動が持続できる、祖先から受継いだ大切な農地を後世に伝える。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		中山間地域等直接支払制度・上切集落協定に参加					次期制度申請
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・中山間地域直接支払制度							

上切組 集落ビジョン2011~2015

美しい里山にかこまれた白山神社の郷 上切

- ① 住民が、住み続けられる魅力ある上切をつくります。
- ② 住民が、助け合い、安心して暮らせる地域をつくります。
- ③ 伝統を守り、後世に伝えていきます。

強 み

- ① 由緒ある白山神社（郷社）が祀られており、伝統的な行事が受け継がれている。
- ② 浅野地区で唯一、市老連に加盟している老人クラブがある。
- ③ 集落、農地が山頂付近に位置し、地形が比較的平坦である。

弱 み

- ① 高齢者世帯の増加及び人口減少に伴い、組の行事や祭りの運営に支障が出始めている。
- ② 住居が点在し、結いの作業が消滅して地域の絆が薄れつつある。
- ③ 耕作放棄地が増加傾向にある。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 高 齢 者 の 安 心 安 全	《緊急医療情報カードの設置》 ひとり暮らし高齢者宅等（屋間を含む。）の冷蔵庫に、緊急時に備えて救急医療情報カードを設置する。					自治区	民生委員 消防署
	【目的】 ひとり暮らし高齢者宅等へ救急車が出動した場合、初期処置等に必要な情報が即時に取得できる体制を整え、高齢者の安心・安全を確保する。						
	目標	H23	H24 消防署と協議 カード作成・設置 福祉生活改善部 と民生委員支援	H25	H26 民生委員による訪問指導(随時)	H27 カードの設置・更新(随時)	
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】						
② 高 齢 者 対 策	《高齢者の孤立化防止》 老人クラブ行事、ふれあいサロン、ゲートボール等への参加をみんなと呼掛け合う。行事に合わせて食事・茶話会を開催し、参加者相互の絆を深める。					組	ぬくもりの里
	【目的】 高齢者が、心身ともに健康で、安心して暮らせる上切町にするため、触れ合いと健康づくりの場を整備する。						
	目標	H23	H24	H25 ふれあいサロン・ゲートボール等	H26 食事会・茶話会	H27	
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】・ふれあいサロン						

取組活動と目的						実施主体	支援
③	＜秋祭りを伝承する＞ 出身者等に秋祭りへの参加を呼びかけ、中止された花車の曳き回しを再開する。また、撃ち手が少なくなった火縄銃の撃ち手を育成する。					組	—
	【目的】 人口減少に伴って秋祭りへの参加者が減少しており、祭り継続が困難になってきている。出身者等の協力を得、かつての賑わいを取り戻す。						
	目標	H23	H24 祭事配役の検討 警察署と協議 協力者へ呼び掛け	H25	H26	H27	
		撃ち手の育成					
		花車の曳きまわし					
実績							
	【活用できる市の制度・補助など】						
④	＜耕作放棄地の拡大防止＞ 組全体で中山間地域直接支払制度の集落協定に定めた協定事項を確実に実施するとともに、集落営農のための計画樹立と実施を目指す。					組	農政課
	【目的】 農業従事者の超高齢化に伴い、耕作放棄地の拡大が懸念されている。その防止と、将来にわたって農業生産活動が持続できる体制を地域で整備する。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		中山間地域等直接支払制度への取り組み					新制度継続
			組織の立ち上げ 集落営農検討	オペレーターの育成・機械の共同化			
実績							
	【活用できる市の制度・補助など】・中山間地域直接支払制度						

結いの心が息づくしだれ桃の里 上中

- ① 住民どうしのつながりを大切にしながら、安心して暮らせる地域をつくります。
- ② 生きがいや楽しみを持ちながら、いきいきと暮らし続ける地域をつくります。
- ③ 上中の魅力や資源を発信して、多様な人との交流を深めます。

強 み

- ① 日常の近所づきあいの中で声かけ、見守りが行われ、安心な生活が保たれている。
- ② 老人クラブやマレットゴルフなど、集落のレクリエーション活動が盛んである。
- ③ 住民の有志がしだれ桃を育てており、春には多くの人が観賞に訪れている。

弱 み

- ① 65 歳以上の高齢化率が 60%を超え、半数以上の世帯が高齢者のみである。20 歳未満の子どもがいない。
- ② 人口減少により役員のなり手が少なくなり、組や祭典の運営が厳しくなっている。
- ③ 住民の高齢化や跡取りの不在により、管理・耕作できない山林・農地が増加している。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 住民どうしの 支え合い・助け合い	《ひとり暮らしの高齢者の見守りや生活支援の方法の検討》 ひとり暮らしの高齢者は日常的な見守りとともに、ゴミ出し・買い物・傾聴等の生活支援が必要になることから、高齢者の生活の困りごとを把握し、住民の助け合いでサポートする仕組みを検討する。					組	支 所 ぬくもりの里 地域保健課
	【目的】 これまでは日常の近所づくりの中で行われてきたが、お互いに高齢化する中での見守りや生活サポートを集落のしくみとして整え、より安心して暮らし続けられる環境とする。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			高齢者の困りごと把握 見守り、ゴミ出し、買い物等の支援のしくみの検討 助け合いの試験的な実施				
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							
② 組の 自治機能	《効率的な情報伝達の方法の検討》 組の事務の簡略化や緊急時の確実な連絡を確保するため、組の情報伝達について、効率的な方法を検討する。従来の回覧や訪問伝達に加え、FAXや電子メール等の活用についても検討する。					組	支 所 ぬくもりの里 生涯学習センター
	【目的】 組の役員の負担を軽減させるとともに、安否確認・緊急通報、住民どうしや遠方の親族とのコミュニケーションが気軽に図れるようにして、暮らしの安心の向上をめざす。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			活用方法やしくみの検討 新しい方法の試験的な実施				
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							

	取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
③ 生 き が い 農 業 と 農 地 保 全	＜他出者やボランティアの支援も受けながらの耕作の継続＞ 出身者親族等の支援も受けながら、各世帯でできる限り農地における耕作を継続するとともに、世帯での耕作が難しくなった農地については、集落内の助け合いやボランティア、農地の貸付により耕作してもらう仕組みも検討する。					組	農 協 農政課 農地整備課
	【目的】 多様な人の支援を受けながら耕作放棄地の増加を防ぎ、集落環境を維持するとともに、集落で支え合いながら、生きがいとしての農業の推進をめざす。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		他出者親族等の支援も受けながら、各世帯でできる限り耕作を継続					
			助け合いやボランティア活用による耕作の検討・試行				
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・中山間地域直接支払制度							
④ し だ れ 桃 を 活 用 し た 地 域 づ く り	＜有志によるしだれ桃の里づくり活動への支援＞ 有志の活動として実施されているしだれ桃の里づくり活動について、上中組としても認知し、様々な支援をしていく。					組	支 所 商業観光課 観光協会 ボランティア
	【目的】 上中ファンの拡大や元気な集落づくりのための活動を支援することにより、上中地域のさらなる発展につなげる。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		活動内容の把握・評価、活動団体との情報交換（随時）					
				支援の実施・継続（随時）			
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業							
⑤ 高 齢 者 の 安 全 ・ 安 心	＜緊急医療情報カードの設置＞ ひとり暮らし高齢者宅等（昼間を含む。）の冷蔵庫に、緊急時に備えて救急医療情報カードを設置する。					自治区	民生委員 消防署
	【目的】 ひとり暮らし高齢者宅へ救急車が出勤した場合、初期処置等に必要な情報が即時に取得できる体制を整え、高齢者の安心・安全を確保する。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		消防署と協議		カードの更新（随時）			
			福祉生活改善部及び民生委員の支援	民生員による訪問指導（随時）			
			カード作成・設置				
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							

矢作川の清流に憩う絆の里 島崎

- ① 集落が急傾斜地にあることを自覚し、防災意識を高めます。
- ② 県道島崎豊田線の改良促進に向け、努力します。
- ③ 住民が安心して住み続けられるよう、地域の絆を強めます。

強 み

- ① 河川敷公園があり、夏季を中心に多くの人々がアウトドアを楽しみに訪れている。
- ② 各世帯を屋号で呼び合い、有志で1泊の親睦旅行を実施する等、組内に絆がある。
- ③ 集落に分譲地があり、新規入居者がいる。

弱 み

- ① 急傾斜地で土砂災害の危険度が高いところに住家がある。
- ② 災害時に避難できる施設がない。
- ③ 空き家が増加すると共に、家から出られない高齢者の増加が懸念される。
- ④ 倒壊の危険がある廃屋がある。
- ⑤ 集落が3箇所に分散している。

取組活動と目的						実施主体	支援
① 災害への対応	＜災害時の避難体制整備＞ 災害時一時避難場所を確保するとともに、避難経路の確認、緊急時の連絡先等個人情報及び安否確認方法の確立等を行う。					組	支所 防災防犯課
	【目的】 災害時に集落全世帯が確実に非難でき、被害が最小限に抑えられるような体制づくりと訓練を進める。						
	目標	H23	H24 一時避難場所確保 非難経路の確認 緊急時個人情報整理 安否確認の方法作成	H25	H26	H27	
		避難訓練実施					
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・生涯学習出前講座							
② 環境整備	＜県道島崎豊田線の改良促進＞ 地区内の県道島崎豊田線の草刈作業を年2回、道路上の落葉清掃及び不法投棄物の撤去を随時実施し、道路改良工事の実施について県へ陳情する。					組	県 県道期成同盟会
	【目的】 県道島崎豊田線の両国橋西側の歩道未設置区間について、通行者の安全確保のため、県により道路改良若しくは歩道設置をしてもらう。						
	目標	H23	H24 地権者の承諾	H25	H26	H27	
		県への陳情（工事着手まで継続して） 道路法面の草刈り、不法投棄物の撤去					
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
③ 高 齢 者 対 策	＜地域の絆づくり＞ 地域行事への参加を呼びかけ合い、十四日念仏に合わせてふれあいサロンを開催する。サロンでは、年数回食事会で親睦を図る。また、高齢者の安否確認のための声かけ等を行う。					組	ぬくもりの里
	【目的】 高齢者が元気に安心して暮らせるよう、地域で見守り支え合う。						
	目 標	H23	H24 高齢者世帯・緊急 連絡先の把握	H25	H26	H27	
			ラジオ体操の実施・ふれあいサロン開設				
			高齢者世帯への声かけ(誰が誰に声かけするかの確認)				
	実 績						
【活用できる市の制度・補助など】							
④ 高 齢 者 の 安 心 ・ 安 全	＜緊急医療情報カードの設置＞ ひとり暮らし高齢者宅等（昼間を含む。）の冷蔵庫に、緊急時に備えて救急医療情報カードを設置する。					自治区	民生委員 消防署
	【目的】 ひとり暮らし高齢者宅等へ救急車が出動した場合、初期処置等に必要な情報が即時に取得できる体制を整え、高齢者の安心・安全を確保する。						
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27	
			消防署と協議	カードの更新（随時）			
			福祉生活改善部及び民生委員の支援 カード作成・設置	民生委員による訪問指導（随時）			
	実 績						
【活用できる市の制度・補助など】							

下切組 集落ビジョン2011~2015

奥矢作せせらぎの里 下切

- ① 高齢者が、安心して、生きがいを持って生活できる地域をつくります。
- ② 都市で生活する後継者との絆を深くし、Uターンしやすい環境を整えます。
- ③ 優良農地を荒廃化させることなく、農産物の生産を継続します。

強 み

- ① 主要地方道豊田明智線が東西に走り、車の通行量が多い。
- ② 耕作地が矢作川沿いの南向き斜面に位置し、きれいな水、長い日照時間、大きな日温格差等、農産物の生産に適している。
- ③ 「瞽女塚」「抱き弘法」「なますさん」等の民話の舞台がある。

弱 み

- ① 高齢化が進み、独居世帯が増加している。
- ② 親密別居者がいない高齢者世帯が多い。
- ③ 空き家と耕作放棄地が増加することが懸念される。
- ④ 住宅が急傾斜地に位置し、土砂災害の危険性がある。

取組活動と目的						実施主体	支援
① 高齢者・農業振興対策	＜農産物販売所の設置＞ ゴルフ場等への通過交通者に対し、農産物等を販売するための直売所を設置する。					組	支所 農政課
	【目的】 高齢者の生きがい対策及び農地の荒廃防止のため、農産物等が販売できる体制を整える。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		組織づくり 地権者の承諾 → 農産物の販売 直売施設設置					
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業 ・中山間地域直接支払制度							
② 高齢者対策	＜高齢者の居場所づくり＞ ①で設置する農産物直売所に、地域の高齢者が集い、会話が出来る居場所を設ける。					組	支所
	【目的】 高齢者が集う居場所をつくることにより、地域での高齢者の見守りを容易にする。行く行くは、ふれあいサロンに発展させる。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
				場所づくり	ふれあいサロン開設		
		高齢者への声かけ、施設の充実					
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業							

取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
③ 出身者との絆づくり	＜親密別居世帯づくり＞ 道路の草刈り作業及び祭り等の地区行事の場に、高齢者世帯の別居家族が参加するよう、地域が声かけをする。作業後等には、懇親会を開催する。				組	—
	【目的】 高齢者世帯の別居家族が、度々地区行事へ参加するために帰省することによって当該家族間の親密度が増す。合わせて、地区住民と親密になれば、将来Ｕターンが期待できる。					
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27
		年2回の草刈作業への協力呼びかけ（継続） 作業終了後、懇親会を開催				
		秋の例大祭等の行事への参加呼びかけ(継続)				
	実 績					
【活用できる市の制度・補助など】						
④ 高齢者対策	＜緊急医療情報キットの設置＞ ひとり暮らし高齢者宅等（昼間を含む。）の冷蔵庫に、緊急時に備えて救急医療情報カードを設置する。				自治区	民生委員 消防署
	【目的】 ひとり暮らし高齢者宅等へ救急車が出動した場合、初期処置等に必要な情報が即時に取得できる体制を整え、高齢者の安心・安全を図る。					
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27
		消防署と協議		カードの更新（随時）		
		福祉生活改善部及び民生委員の支援		民生委員による訪問指導（随時）		
	実 績					
【活用できる市の制度・補助など】						

下中組 集落ビジョン2011~2015

絆の心が息づく庚申さんの里 下中

- ① 地域住民が絆を大切にし、楽しく安心して暮らせるまちをつくれます。
- ② 祖先から受継いだ大切な農地を守り、次世代に引継ぎます。
- ③ 地域資源を活かしながら、自慢したくなる地域をつくれます。

強 み

- ① 集落内に、庚申さんが祀られている。
- ② 竹の子を中心に、山菜がたくさん採れる。
- ③ 集落内にシダレモモの植栽がされている。
- ④ Uターン、Iターン者がいる。

弱 み

- ① 一時避難所の安全が確保できていない。
- ② 高齢化が進み、耕作放棄地も増加している。
- ③ 中山間直接支払制度に取り組んでいない。
- ④ 集落が傾斜地にあり、高齢者の移動が困難である。

取組活動と目的						実施主体	支援
① 高齢者 対策	＜ふれあいサロンの開催＞ 毎月開催の十四日念仏の機会に、ふれあいサロンを開催する。					組	ぬくもりの里
	【目的】 高齢者がふれあいを楽しむ会を開催し、健康の維持増進を図る。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		ふれあいサロン開催					
		近所同士の誘い合い					
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・ふれあいサロン							
② 高齢者の 安心 安全	＜緊急医療情報カードの設置＞ ひとり暮らし高齢者宅等（屋間を含む。）の冷蔵庫に、緊急時に備えて救急医療情報カードを設置する。					自治区	民生委員 消防署
	【目的】 ひとり暮らし高齢者宅等へ救急車が出動した場合、初期処置等に必要な情報が即時に取得できる体制を整え、高齢者の安心・安全を確保する。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			消防署と協議				
			カード作成・設置				
			福祉生活改善部及び民生委員の支援				
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							

	取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
③ 避 難 所 の 整 備	《一時避難所の安全確保》 一時避難所である集会所の裏山が崩壊する恐れがあるため、治山工事を施工することにより安全化を図る。					組	県
	【目的】 土砂流出の危険地が多い下中集落で、住民が一時的に安心して避難できる場所を確保する。						
	目標	H23	H24 地権者の承諾	H25 県への治山陳情（工事着手まで継続して）	H26	H27	
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							
④ 農 業 対 策	《農地を守る》 中山間地直接支払制度の生田地区集落協定に加入する。また、集落営農に取組むことを検討する。					組	農政課
	【目的】 耕作放棄地の発生を防止し、将来にわたって持続的な農業生産活動等が可能な体制を整え、祖先から受継いだ大切な農地を後世に継承する。						
	目標	H23	H24 生田集落に加入申請	H25 中山間直接支払制度・生田集落協定に参加	H26	H27	
	実績		集落営農の計画	集落営農の実施			
【活用できる市の制度・補助など】・中山間地域直接支払制度 ・集落営農							
⑤ 伝 統 を 守 る	《庚申閣にかつての賑わいを取り戻す》 近隣の住人に対し、庚申祭祭祀の案内状を出す。高齢者等、徒歩での参拝が困難な人は車で送迎する。芳名帳を置き、次年度、記帳者へ案内状を送付する。 参拝者に、お札・昼食をセットにして2千円程度で提供する。					組	—
	【目的】 近年、人々の信心する心の希薄化からか庚申閣への参拝者が減少しているため、庚申様のご利益を広く紹介して参拝者の増加を図る。						
	目標	H23	H24 計画	H25	H26	H27	
	実績		芳名帳設置・案内状送付・車で送迎・昼食の提供	駐車場確保			
【活用できる市の制度・補助など】							

須渚組 集落ビジョン2011~2015

レンギョウと里芋の郷 須渚

- ① レンギョウを活かした景観整備を進めます。
- ② 農地を保全するため集落営農を目指します。
- ③ 高齢者が、安心して、生きがいを持って生活できる地域をつくります。

強 み

- ① 明智川沿いに、レンギョウが千本ほど植栽されている。
- ② 集落中央付近の山に、弘法さん88体が祀ってある。二十一夜祭も継続されており、信仰心が厚い土地柄である。
- ③ 米や里芋等、美味しい農産物が生産される。
- ④ 県道豊田明智線を挟むように、集落と農地が集中している。

弱 み

- ① 高齢化が進み、行事参加者が減少している。
- ② 中山間地域直接支払制度に取り組んでいない。
- ③ 耕作放棄地の増加が心配される。
- ④ 山林は土地が痩せていて、造林が出来ない。

取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
① 景観・地域づくり	＜花街道づくり＞ 「レンギョウの郷」としての魅力をアップするため、弘法さん周辺及び地域の空地にレンギョウを増殖する。					組 支 所
	【目的】 既存のレンギョウを活かし、上中のシダレモモ、日下部の梅、杉本のエビネと連携して、旭の花街道として整備を図る。					
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27
			組織づくり		イベント開催	
			計画づくり	植栽		
実績			苗づくり			
	【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業					
② 農業対策	＜農作物の販売＞ 農地を有効利用し、特上米、里芋等を共同で作付けして販売する。					組 支 所
	【目的】 農地の荒廃防止と高齢者の生きがい対策として、直売所設置を含めた農作物販売システムを作る。					
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27
			計画			
			組織づくり	作付・直売所設置・販売		
実績						
	【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業					

	取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
③ 農業振興	《集落営農への取り組み》 非農家である世帯も含め、組全体で営農に取り組むよう、組全体で集落営農計画を立てて実施する。					組	農政課 農 協
	【目的】 高齢化に伴う耕作放棄地の発生・拡大が懸念されている。その防止のため、農協及び農政課等の支援の下、集落営農の実施を図る。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			組織づくり 計画づくり				
			事業申請・取り組み				
④ 高齢者の安心・安全	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】 集落営農						
	《緊急医療情報カードの設置》 ひとり暮らし高齢者宅等（屋間を含む。）の冷蔵庫に、緊急時に備えて救急医療情報カードを設置する。					自治区	民生委員 消防署
	【目的】 ひとり暮らし高齢者宅等へ救急車が出動した場合、初期処置等に必要な情報が即時に取得できる体制を整え、高齢者の安心・安全を確保する。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			消防署と協議	カードの更新（随時）			
			福祉生活改善部及び民生委員の支援 カード作成・設置	民生委員による訪問指導（随時）			
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】						

小渡組 集落ビジョン 2011~2015

夢かけ風鈴の里 小渡

- ① 観光交流を活かしたまちづくりを進めます。
- ② 魅力資源に磨きをかけ、また訪れたくなる、そして住みたくなるまちづくりを進めます。
- ③ 出身者や都市住民など多様な人の縁と絆によって地域力を高めます。

強 み

- ① 旭の地域核として、公共機能、経済機能が集約されている。
- ② 四季折々の自然、食、祭り、人など多様な資源が豊富である。

弱 み

- ① 商業人口が年々減少傾向にある。
- ② 高齢化に伴い、伝統ある地域行事の運営が困難になってきた。
- ③ 土地が急峻で災害時に孤立する危険性がある。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 次世代につながる絆づくり	《住民間交流の充実》 出身者を始めとした小渡町の縁故者と交流会を開催し、「郷土愛」を育む。また、地域資源を活用して企業や地区外住民との観光交流により「小渡ファン」づくりを推進し、お祭りや草刈等の戦力として地域に呼び込む雰囲気づくりをしていく。					組	—
	【目的】 地域や地域外住民とふれあい、つながりを広げ、小渡の魅力を感じてもらう機会を作り、外の力を活用して地域を支えてくれる人材を育てていく。						
	目 標	H23	H24 出身者への呼びかけ方法の検討 企業や地区外住民との交流方法の検討	H25	H26	H27	実 施 ・ 継 続
	実 績						
	【活用できる市の制度・補助など】						
② まちづくり活動への支援	《有志によるまちづくり活動への支援》 夢かけ風鈴実行委員会、小渡の夢をかなえる会、小渡山里愛護会等のまちづくり団体が主催するまちづくり活動を、小渡組として様々な支援をしていく。					組	観光協会 商工会 小渡商工観光会 小渡ファン 商業観光課・支所
	【目的】 小渡地域のために活動する有志で構成されたまちづくり団体等を支援することで、小渡地域のさらなる発展につなげる。						
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27	活動団体の活動内容を把握・評価（随時） 活動団体との情報交換（随時） 活動団体への支援方法を検討（随時） 実 施 ・ 継 続
	実 績						
	【活用できる市の制度・補助など】 ・わくわく事業 ・観光まちづくり事業補助金 ・観光プロモーション事業						

取組活動と目的						実施主体	支援
③ 災害への備え	＜災害時の避難体制の確保＞ 集落を点検しながら危険箇所マップを作成し、避難経路を共通認識する。同時に、緊急時の連絡先等個人情報の整理、安否確認方法の確立、災害時行動マニュアル等を作成し、避難訓練を実施する。					組	自治区 支所 防災防犯課
	【目的】 災害時に孤立する危険性があるため、災害時の体制づくりと訓練を実施することで、集落全員が確実に避難し被害を最小限に抑える。						
	目	H23	H24	H25	H26	H27	
	標		集落歩きによる 危険箇所マップ作成	避難経路の作成 避難訓練実施	災害時行動 マニュアル作成	災害時行動 マニュアルの 確認・更新	
	実績		緊急時個人情報の整理 安否確認の方法の確立	避難訓練実施			
【活用できる市の制度・補助など】 ・自主防災事業補助金制度 (防災施設整備、防災マップ作成、防災資材整備等)							
④ 農地・山林の保全	＜自助・共助による耕作の継続と集落営農の検討＞ 獣害対策に取り組みながら、集落全体で農地を保全していくために集落営農の仕組みを検討、実施していく。 また、荒廃する山林再生のため「森づくり会議」を設立し、間伐を推進する。					組	農協 農政課 農地整備課 森林課
	【目的】 耕作を放棄している土地や今後放棄しそうな土地、地域内の山林を集落全体の力を結集して維持・保全していく。						
	目	H23	H24	H25	H26	H27	
	標		獣害柵やメッシュに関する補助制度の研究	獣害対策の検討・補助申請	実施・継続		
	実績		森づくり会議設立済	森づくり団地化の促進	実施・継続		
【活用できる市の制度・補助など】 ・集落営農支援制度 ・鳥獣害対策事業 ・野生獣類被害防止対策事業 ・森づくり会議							
⑤ 活動拠点の整備	＜小渡公民館の改修＞ まちづくり活動の中心である公民館を早期に耐震改修し、組の住民が安全に安心して集える施設とする。					組	地域支援課 支所
	【目的】 まちづくり及び災害対策の拠点施設となる公民館を耐震化する。						
	目	H23	H24	H25	H26	H27	
	標		耐震診断	補助申請			
	実績		改修案作成 次年度要望	改修工事			
【活用できる市の制度・補助など】 ・地域集会施設耐震診断事業 ・地域集会施設整備事業							

閑羅瀬組(小滝野含む) 集落ビジョン 2011~2015

矢作ダムの里 閑羅瀬

- ① 住民が助け合い、支え合いながら住み続けられる地域を維持します。
- ② 出身者とのつながりをつくり、協力を得ながら地域を維持します。

強 み

- ① 矢作ダムの湖畔景観と豊かな自然に恵まれ、澄明等の伝統行事を受け継いでいける住民の絆が強いまちである。
- ② 高齢者の見守り活動などの支え合いも日常生活の中でできており地域の絆の深い地域である。

弱 み

- ① 確実に人口が減っていき、集落の「お役」や「助け合い」も困難になりそうである。
- ② 地形が急峻で、大雨等の災害時には孤立する危険性がある。

取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
① 災 害 へ の 備 え	＜災害時の避難体制の確保＞ 集落を点検しながら危険箇所マップを作成し、避難経路を共通認識する。併せて、緊急時の連絡先等個人情報の整理や安否確認方法の確立、災害時行動マニュアル等を作成し、避難訓練を実施する。				組	自治区 支 所 防災防犯課
	【目的】 災害時に孤立する危険性があるため、災害時の体制づくりと訓練を実施することで、集落全員が確実に避難し被害を最小限に抑える。					
	H23	H24	H25	H26	H27	
	目 標	集落歩きによる 危険箇所マップ作成		災害時行動 マニュアル作成		
		一時避難 場所の確定	避難経路の作成 避難訓練実施	災害時行動 マニュアルの 確認・更新		
実 績	緊急時個人情報の整理 安否確認の方法の確立				避難訓練実施	
	【活用できる市の制度・補助など】 ・生涯学習出前講座による防災意識の啓発 ・自主防災事業補助金制度（防災施設整備、防災マップ作成、防災資材整備等）					

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
② 景観・地域づくり	《花のある里づくり・花街道づくり》 「上倉のさくら」や市指定の天然記念物「閑羅瀬の百日紅」を核にしながら、組全体の地域活動として、街道沿いや耕作放棄地に花木を計画的に植栽して、景観を整備する。					組	公園緑地協会 中部電力(株)
	【目的】 組全体で植栽活動に取り組み、地域内のつながりを深めるとともに、花いっぱいの美しい景観を整備することで転出者や地域外の住民が訪れたい地域を目指す。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			樹種 植栽か所 植栽方法	検討 植栽の実施 草刈等の管理作業	拡大・継続		
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】 ・わくわく事業							
③ 次世代につなげる絆づくり	《住民間交流の充実》 出身者を始めとした閑羅瀬・小滝野の縁故者との交流会を開催し「郷土愛」を育む。併せて、お祭りや草刈等の集落活動の担い手となってもらえるような雰囲気づくりをしていく。					組	—
	【目的】 地域や地域外住民とふれあい、つながりを広げ、閑羅瀬・小滝野に愛着を持ってもらう機会を作り、Uターン者や外から地域を支えてくれる人材を繋げていく。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】						

田津原組(牛地含む) 集落ビジョン2011~2015

四季と水に親しむ里 田津原

- ① 魅力資源に磨きをかけ、自慢したくなる、訪れ・住みたくなる地域をつくります。
- ② 出身者や都市住民など多様な人の縁と絆によって地域力をアップします。
- ③ 誰もが生きがいを持ちながら、住み続けられる安住の集落づくりを進めます。

強 み

- ① 段戸川の溪流の静けさと豊かな自然がある。
- ② 森づくり会議など地域ぐるみの農地・森林保全活動や地域づくりが比較的盛んである。
- ③ 親密別居世帯が比較的多く、独居高齢者等の生活の支えや集落活動の担い手にもなっている。
- ④ 若い世代のＩターン者がいる。

弱 み

- ① 高齢独居世帯といった高齢者だけの世帯が少なくない。
- ② 高低差があるため集落中心地まで坂があり、高齢者にとって徒歩での移動が大変な場所もある。
- ③ 冬場が寒く、道路の凍結が心配される。地理的に災害発生時の孤立化も懸念される。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 景観・地域づくり	《しだれ桃と溪流が映える風景づくり》 これまで植栽してきた「しだれ桃」の手入れ・育樹を継続的に進めるとともに、川面が見える風景（川の景観スポット）づくりを行う。					組	公園緑地協会 支 所
	【目的】 美しい風景づくりを通じて、地域内外の連帯意識を高め、地域に対する誇りや愛着を醸成するとともに、出身者や都市住民が訪れ・住みたくなる魅力ある地域を目指す。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	しだれ桃の手入れ・育樹、植樹（H23に寄付 30 本）						
	自主的取り組み		伐採箇所等の計画・検討		川面が見える風景づくりの実施 （段戸川沿いの道路の草刈りや景観支障木の伐採）		
実績							
【活用できる市の制度・補助など】 ・わくわく事業 ・緑化推進事業							
② 集落出身者等との絆づくり	《田津原の絵ハガキづくりと集落外住民との交流会の開催》 しだれ桃の写真付きハガキや名刺大のカードを作成し、出身者（親密別居者も含む）を始め、田津原や牛地につながるのある人に送付し、秋祭りやしだれ桃の花見等の交流機会を設けて参加を促す。					組	
	【目的】 地域内外の人たちの触れ合い、つながりの輪を広げ、親密別居者や行ったり来たり都市住民など外から地域を支えてくれる多様な人材やU・Iターン者の確保を目指す。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	絵ハガキの作成		絵ハガキの更新やその他PR方法の検討				
	秋祭りやしだれ桃の花見、草刈り等の機会を活かした交流会の開催						
実績							
【活用できる市の制度・補助など】							

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
③ 農地保全と生きがい農業の推進	＜集落ぐるみの農地保全の継続と生きがい農業の推進＞ 中山間地域等直接支払制度を活用した集落ぐるみの農地保全を継続するとともに、田んぼオーナー制や市民農園の開設など新たな農地保全策を検討する。同時に、各戸で採れる余り野菜等の販売による“小銭稼ぎ型生きがい農業”を推進する。					組	農 協 農政課 農地整備課
	【目的】 高齢化や機械の更新等の困難化に伴って心配される離農の進行とそれに伴う耕作放棄地の増加を防止し、美しい農村風景の維持・発展と集落住民の生きがい形成を目指す。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】 ・中山間地等直接支払制度 ・わくわく事業							
④ 高齢者等の安住の確保	＜日常の見守り等やIT活用などによる高齢者の安住確保＞ これまで進めてきた日常的な見守り・安否確認やふれあいサロン等を継続するとともに、災害時要援護者の支援体制整備についても検討する。また、講習会の開催などによって高齢者のインターネット活用を促進するなど、安心な居住策を模索する。					組	地域保健課 ぬくもりの里 支 所 防災防犯課
	【目的】 集落住民の支え合いやIT（情報技術）の有効活用等によって、高齢期を迎え、いずれひとり暮らしになったとしても、誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けられる安住の集落づくりを目指す。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】 ・ふれあいサロン事業 ・里山げんき保健事業 ・生涯学習出前講座による防災意識の啓発							

時瀬町 集落ビジョン 2011~2015

県下一大いちょうのある町 時瀬

- ① 地域の絆を大切にして、ふるさと「時瀬」の地域力を高めます。
- ② 矢作川と豊かな沢の清流に恵まれ、地域の魅力資源を活かして住み続けられるまちをつくります。

強 み

- ① 時瀬の大いちょうを始めとした四季折々の自然、食といった地域資源が豊富である。
- ② 矢作川の清流に加え、山の水に恵まれ豊かな農産物が自慢である。

弱 み

- ① 少子・高齢化に伴い、地域の共同作業の実施が困難になってきている。
- ② 矢作川沿いに位置するため、大雨による河川の氾濫や土石流等の危険性がある。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 住民とつながる絆のつくり	＜住民間交流の充実＞ 集落の共同作業や各種行事を継続して実施していくために必要な住民間の絆を深める機会をつくり、スムーズな組運営を実現する。いずれは、出身者や縁故者等との交流会へと拡大し「絆の輪」を広げ、お祭りや草刈等の集落活動の担い手づくりをする。					組	—
	【目的】 四季折々の行事を継続するために、出身者も含めた町内の絆を堅固なものにしていく。						
	目標	H23	H24 既存の行事から 雑談会を実施	H25 雑談会(交流会) の方法を検討 出身者への呼び かけ方法の検討	H26 継	H27 続	
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】						
② まちづくり活動への支援	＜町内会有志によるまちづくり活動への支援＞ 町内の有志で組織するまちづくり団体が主催するまちづくり活動を、時瀬組として支援していく。					町内有志	公園緑地協会 支 所
	【目的】 時瀬地域のために活動する有志で構成されたまちづくり団体等を支援することで、地域の魅力を高めさらなる発展につなげる。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			活動団体の活動内容を把握・評価（随時）				
			活動団体との情報交換（随時）				
			活動団体への支援方法を検討（随時）				
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】 ・わくわく事業 ・緑化推進事業						

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
③ 災 害 へ の 備 え	《災害時の避難体制の確保》 集落を点検しながら危険箇所マップを作成し、避難経路を共通認識する。同時に、緊急時の連絡先等個人情報の整理、安否確認方法の確立、災害時行動マニュアル等を作成し、避難訓練を実施する。					組	自治区 支所 防災防犯課
	【目的】 災害時に孤立する危険性があるため、災害時の体制づくりと訓練を実施することで、集落全員が確実に避難し被害を最小限に抑える。						
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27	
			集落歩きによる 危険箇所マップ作成		避難経路の整備		
			避難経路 の検討		災害時行動 マニュアル作成		災害時行動 マニュアルの 検証・見直し
④ 農 地 の 維 持 ・ 保 全	実 績						
	【活用できる市の制度・補助など】 ・ 自主防災事業補助金制度 (防災施設整備、防災マップ作成、防災資材整備等)						
	《自助・共助による営農の継続》 獣害対策に取り組みながら、集落全体で農地を保全していく「集落営農」の仕組みを検討・実施していく。					営農者 組	農 協 農政課 農地整備課
	【目的】 耕作放棄地の増加を防ぎ、集落全体の持続可能な営農を実現する。						
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27	
④ 農 地 の 維 持 ・ 保 全			獣害補助に関する補助制度の研究				
			具体的獣害対策の検討・補助申請・実施・継続				
		旭地域営農 協議会に参加	営農形態の検討		集落営農の実施・継続		
	実 績						
	【活用できる市の制度・補助など】 ・ 集落営農支援制度 ・ 鳥獣害対策制度 ・ 野生獣類被害防止対策制度 ・ 森づくり会議						

万町組 集落ビジョン2011～2015

みんなで支え合う星のふる里 万町

- ① 住民が助け合い、支え合いながら住み続けられる地域をつくります。
- ② 出身者とのつながりを作り、協力を得ながら地域を維持します。
- ③ 地域の魅力を守り、育てながら、訪れたい、住みたい地域をつくります。

強 み

- ① 四季折々の自然、食、祭りなどがある。特にしだれ桃を植栽しており、来訪者もある。
- ② 地域住民、隣近所で支え合うなど、住民のつながりがしっかりしている。
- ③ 祭りが住民同士のコミュニケーション、見守りの機会になっている。

弱 み

- ① 人口が27名と少なく、高齢化率も高い。しかも高齢独居世帯が9世帯と多い。
- ② 集落が広く、高低差もあるため、地域内の移動も大変。
- ③ 高齢化や鳥獣害で農業ができなくなっている。また山林の境界もわからなくなっている。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 集落出身者との絆づくり	《出身者との交流会を通じた草刈り活動の実施》 出身者、お墓を持っている方などと絆を深めるため、しだれ桃が咲く頃、星が綺麗な時、紅葉祭りなどに出身者等を招待して交流等を行うとともに、交流会などを通じて、出身者、お墓を持っている方などから協力を集め、それ資金でシルバー人材センターに委託して草刈りを実施する。					組	シルバー人材センター
	【目的】 過疎化、高齢化で人手が不足し、市道などの草刈りなどを自ら行うことができないことから、出身者等の協力を得ながら生活環境の維持、祭り等の保存を目指す。						
	目標	H23 住所等の把握 交流会への招待状の作成	H24	H25	H26	H27	
		しだれ桃の花見、紅葉まつりへ招待状の発送と交流会の実施					
		協力金の依頼や草刈りの検討		協力金の依頼と草刈りの実施			
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							
② 住民同士の支え合い	《住民によるふれあいサロンの実施》 日常的な見守りの維持・充実を図るとともに、住民同士の支え合いや交流を深めるため、食事等を持ち寄り、住民が集い、憩うふれあいサロンを実施する。なお、集会所でサロンを開設する場合は、サロンにあわせて地域バスが利用できるように検討する。					組	地域保健課 ぬくもりの里
	【目的】 高齢独居世帯が増加する中、住民が助け合い、支え合い、安心して生活できる地域を目指す。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		日常的な住民同士の見守り維持・充実					
					ふれあいサロンの実施		
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】 ・ふれあいサロン事業 ・里山げんき保健事業							

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
③ 生きがい農業と農地保全	＜集落ぐるみでの自家用農産物等の販売と農地の有効利用＞ 自家用等に栽培している少量多品種の農作物等を出荷・販売等をしていけるように検討していくとともに、農地保全に向けてボランティアやオーナーを募って耕作してもらう仕組みを検討・実施する。					組	農 協 農政課 農地整備課
	【目的】 地域外の力を借りながら、耕作放棄地の増加を防ぐとともに、集落で支え合いながら生きがい農業の推進を図ることを目指す。						
	目標	H23 自家用農産物等を出荷するJAの産直会員についての勉強会の開催と意欲のある人による出荷の実施	H24	H25	H26 県道整備等にあわせた無人直売所等の開設検討	H27	
		ボランティア等で農地を保全する仕組みの検討		ボランティアやオーナー制などによる新たな農地保全策の試行・実施			
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】 ・中山間地等直接支払制度 ・わくわく事業							
④ 共働での魅力づくり	＜しだれ桃の植栽活動と地域の魅力のPR＞ 出身者や都市住民（ボランティア等）にも参加を呼び掛けながら、竹林等になっている山林等にしだれ桃を植栽していくなど、地域の魅力づくりを行うとともに、その魅力等を、ひまわりネットワークなどを通じてPRする。					組	ひまわりネットワーク
	【目的】 地域の魅力づくりを通じて、地域住民の地域への誇りの醸成を図るとともに、出身者や都市住民が訪れたい地域を目指す。						
	目標	H23	H24 竹林等の伐採	H25 しだれ桃の植樹と育成	H26	H27	
				出身者や都市住民（ボランティア等）の活動への呼びかけ			
		ひまわりネットワーク等を活用して地域のPR					
実績							
【活用できる市の制度・補助など】 ・わくわく事業							

矢作の清流と地酒の里 有間

- ① 地域の絆を大切にして、ふるさと「有間」の地域力の向上を図ります。
- ② 矢作川の清流と地域の魅力資源に磨きをかけ、住み続けられるまちづくりを進めます。

強 み

- ① 四季折々の自然、食、祭り、人といった地域資源が豊富である。
- ② 祭りが他出者を含めた住民同士の絆を築いている。
- ③ 親密別居世帯が多く、独居高齢者等の生活の支えや集落活動の担い手になっている。

弱 み

- ① 人口の減少により、神事の継続や伝統文化の継承が課題である。
- ② 矢作川沿いに位置するため、大雨による河川の氾濫や土石流等の危険性がある。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 次世代につながる絆づくり	《住民間交流の充実》 秋祭りを始め各種行事を継続して実施し、町内の親睦を深める。いずれは、転出者や縁故者等との交流会を拡大し「絆の輪」を広げ、お祭りや草刈等の集落活動の担い手を育てる。					町内会	
	【目的】 四季折々の行事を継続して出身者も含めた地域の絆を堅固なものにしていく。						
	目 標	H23 交流会の継続 (秋祭り)	H24 交流会の 運営方法 の検討	H25	H26	H27	
	実 績						
	【活用できる市の制度・補助など】						
② まちづくり活動への支援	《町内会有志によるまちづくり活動への支援》 有間竹林愛護会を始めとしたまちづくり団体が実施するまちづくり活動を、有間町内会として支援していく。					町内会	商工会 河川課 商業観光課 支 所
	【目的】 有間地域のために活動する有志で構成されたまちづくり団体等を支援することで、有間地域の魅力を高め、さらなる発展につなげる。						
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27	
	実 績						
	【活用できる市の制度・補助など】 ・わくわく事業ほか						

取 組 活 動 と 目 的		実施主体		支 援		
③ 災 害 へ の 備 え	＜災害時の避難体制の確保＞ 集落を点検しながら危険箇所マップを作成し、避難経路を共通認識する。併せて、緊急時の連絡先等個人情報の整理や安否確認方法の確立、災害時行動マニュアル等を作成し、避難訓練を実施する。		町内会		自治区 支 所 防災防犯課	
	【目的】 災害時に孤立する危険性があるため、災害時の体制づくりと訓練を実施することで、集落全員が確実に避難し被害を最小限に抑える。					
	目 標	H23	H24 集落歩きによる 危険箇所マップ作成 避難場所 の検討 避難経路 の検討 緊急時個人情報の整理 安否確認の方法の確立	H25 避難訓練の実施	H26 災害時行動 マニュアル作成	H27 災害時行動 マニュアルの 検証・見直し
	実 績					
	【活用できる市の制度・補助など】 ・自主防災事業補助金制度 (防災施設整備、防災マップ作成、防災資材整備等)					
④ 農 地 ・ 山 林 の 保 全	＜自助・共助による耕作農地の継続と山林の健全化＞ 獣害対策に取り組みながら、集落全体で農地を保全していく「集落営農」の仕組みを検討、実施していく。 また、荒廃する山林再生のため「森づくり会議」を設立し、間伐を推進する。		町内会		農 協 農政課 農地整備課 森林課	
	【目的】 耕作放棄地の増加を防ぎ、集落全体の営農を実現する。また、山の荒廃を防ぎ、健全な森林を維持・保全し、防災上の効果を高める。					
	目 標	H23	H24 獣害対策に関する補助制度の研究 具体的獣害対策の検討・補助申請・実施・継続 旭地域営農協議会に参加・集落営農の検討	H25 山林所有者の調査 及び意向確認 森づくり会議 設立の検討	H26 集落営農の実施・継続 森づくり会議設立 団地化・間伐の推進	H27
	実 績					
	【活用できる市の制度・補助など】 ・集落営農支援制度 ・鳥獣害対策制度 ・野生獣類被害防止対策事業 ・森づくり会議					

池島町 集落ビジョン 2011～2015

福祉とカヌーのまち 池島

- ① 集落の耕作者が協力して、農地を再生・保全します。
- ② 地域の絆を大切にして、ふるさと「池島」を未来に繋げます。
- ③ 台風や大雨時は「早めの声かけ」、「早めの避難」を心がけます。

強 み

- ① 旭地域で最初の景観整備をした池島公園を始め、地域資源（矢作川、桜、もみじ、温泉、カヌー、農作物）が豊富である。
- ② 高齢者の見守り活動などの支え合いも日常生活の中でできている。

弱 み

- ① 獣害が多く対策が遅れている。
- ② 集落内の労働力人口（15～64 歳）が減少していく。
- ③ 災害時に孤立する危険性がある。

取 組 活 動 と 目 的				実施主体	支 援
① 災 害 へ の 備 え	《災害時の避難体制の確保》 集落を点検しながら危険箇所マップを作成し、避難経路を共通認識する。併せて、緊急時の連絡先等個人情報の整理や安否確認方法の確立、災害時行動マニュアル等を作成し、避難訓練を実施する。			町内会	自治区 支 所 防災防犯課
	【目的】 災害時に孤立する危険性があるため、災害時の体制づくりと訓練を実施することで、集落全員が確実に避難し被害を最小限に抑える。				
	H23	H24	H25	H26	H27
	目 標	<div>集落歩きによる危険箇所マップ作成</div> <div>避難場所の検討</div> <div>避難経路の検討</div> <div>緊急時個人情報の整理 安否確認方法の確立</div> <div>災害時行動マニュアル作成</div> <div>災害時行動マニュアルの検証・見直し</div> <div>避難訓練の実施</div>			
	実 績				
【活用できる市の制度・補助など】 ・ 自主防災事業補助金制度 (防災施設整備、防災マップ作成、防災資材整備等)					

	取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
② 次世代につながる絆づくり	《住民間交流の充実》 現在行っている春のお花見、町内会の旅行を始めとした各種行事を継続し、町内の親睦を図っていく。いずれは、出身者を始めとした池島町の縁故者へと交流会を拡大し、地域の絆を広めていく。					町内会	—
	【目的】 少子高齢化が進行する中であって、四季折々の行事を継続して町内の絆を堅固なものにしていく。						
	目標	H23	H24 花見 秋祭 親睦旅行 実施方法の検討	H25	H26	H27	
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】						
③ 農地の継続	《自助・共助による耕作農地の継続》 獣害対策に取り組みながら、集落全体で農地を保全するため「集落営農」の仕組みを検討・実施していく。					町内会	農協 農政課 農地整備課
	【目的】 耕作放棄地の増加を防ぎ、集落全体の営農を実現する。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】 ・集落営農支援制度 ・野生獣類被害防止対策事業 ・鳥獣害対策事業						
④ 景観・地域づくり	《花のある里づくり・花街道づくり》 「池島公園」の桜やもみじを核にして、老人クラブと町内会が一体となって、街道沿いや地域の拠点となる花壇に計画的に植栽して、池島全体へと景観整備を拡大する。					町内会	公園緑地協会 公園課 支 所
	【目的】 町内会全体で植栽活動に取り組み、地域内のつながりを深めるとともに、花いっぱいの美しい景観を整備することで出身者や地域外の住民が訪れたくなる地域を目指す。						
	目標	H23	H24 樹 種 植栽か所 植栽方法 } 検討	H25	H26	H27	
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】 ・わくわく事業 ・緑化推進事業 ・花のあるまちづくり事業						

市平町 集落ビジョン 2011～2015

七色の古木のある町 市平

- ① 住民が助け合い、支え合いながら住み続けられる地域をつくれます。
- ② 出身者とのつながりをつくり、協力を得ながら地域を維持します。

強 み

- ① 親密別居世帯が比較的多く、独居高齢者等の生活の支えや集落活動の担い手にもなっている。
- ② 高齢者の見守り活動などの支え合いも日常生活の中でできおり、住民同士の絆の深い地域である。

弱 み

- ① 土地が急峻で災害時に孤立する危険性がある。
- ② 獣害が多く対策が遅れている。

取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
① 次世代につなげる絆づくり	＜住民間交流の充実＞ 出身者を始めとした市平の縁故者や市平ファンとの交流会を開催し「郷土愛」を育む。いずれは、出身者やボーイスカウトなど市平の縁故者等との交流会へと拡大し「絆の輪」を広げ、お祭りや草刈等の集落活動の担い手を育てる。				町内会	—
	【目的】 地域や地域外住民とふれあい、つながりを広げ、市平に愛着を持ってもらう機会を作り、Uターン者や外から地域を支えてくれる人材を繋げていく。					
	H23	H24	H25	H26	H27	
	目標	出身者への呼びかけ方法の検討 実施・継続 企業やボーイスカウト等との交流方法の検討				
	実績					
【活用できる市の制度・補助など】						

	取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
② 災 害 へ の 備 え	《災害時の避難体制の確保》 集落を点検しながら危険箇所マップを作成し、避難経路を共通認識する。併せて、緊急時の連絡先等個人情報の整理や安否確認方法の確立、災害時行動マニュアルを作成して、避難訓練を実施する。また、ガケ崩れ対策と景観向上を兼ねた植栽等を検討・実施していく。					町内会	自治区 支 所 防災防犯課
	【目的】 災害時に孤立する危険性があるため、災害時の体制づくりと訓練を実施することで、集落全員が確実に避難し、被害を最小限に抑える。						
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27	
			集落歩きによる 危険箇所マップ作成 避難経路の検討 緊急時個人情報の整理 安否確認の方法の確立 避難訓練の実施 樹種・植栽か所 植栽方法の検討		災害時行動 マニュアル作成	災害時行動 マニュアルの 検証・見直し	
	実 績						
【活用できる市の制度・補助など】 ・ 自主防災事業補助金制度 (防災施設整備、防災マップ作成、防災資材整備等)							
③ 農 地 ・ 山 林 の 保 全	《自助・共助による耕作の継続と集落営農の検討》 獣害対策に取り組みながら、集落全体で農地を保全していくため集落営農の仕組みを検討、実施していく。 また、荒廃する山林再生のため「森づくり会議」を設立し、間伐を推進する。					町内会	農 協 農政課 農地整備課 森林課
	【目的】 耕作を放棄している土地や今後放棄しそうな土地、地域内の山林を集落全体の力を結集して維持・保全していく。						
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27	
			獣害柵やメッシュに関する 補助制度の研究 具体的獣害対策の検討・ 補助申請・実施・継続 旭地域営農協議会に参加・ 集落営農の検討 山林所有者の調査 及び意向確認	森づくり会議 設立の検討	実施・継続	森づくり会議設立 団地化・間伐の推進	
	実 績						
【活用できる市の制度・補助など】 ・ 集落営農支援制度 ・ 鳥獣害対策事業 ・ 野生獣類被害防止対策事業 ・ 森づくり会議							

笹戸町 集落ビジョン 2011～2015

ようこそ 清流と温泉の町 笹戸へ

- ① 観光交流を活かしたまちづくりを進めます。
- ② 魅力資源に磨きをかけ、また訪れたいまちづくりを進めます。
- ③ 多様な人の縁と絆によって地域力を高めます。

強 み

- ① 600年の歴史を持つ県下最古の温泉地で、奥矢作温泉郷のなかでは最も規模の大きい温泉街である。
- ② 四季折々の自然、食、まつり、イベント、人と多様な地域資源が豊富である。
- ③ 旭地区の玄関口であり、豊田の市街地や名古屋方面からも集客しやすい。

弱 み

- ① 観光客数、宿泊者数が減少し、旅館数が減るなど地域の活性化が課題である。
- ② 矢作川沿いに位置するため、大雨による河川の氾濫や土石流やがけ崩れの危険性がある。

取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
① ま ち づ く り 活 動 へ の 支 援	《町内会有志によるまちづくり活動への支援》 笹戸温泉振興会、元気な里づくりの会を始めとしたまちづくり団体が主催するまちづくり活動に関し、笹戸町内会として様々な支援をしていく。				町内有志	観光協会 商業観光課 支 所
	【目的】 笹戸地域のために活動する有志で構成されたまちづくり団体等を支援することで、 笹戸地域の魅力を高め、さらなる発展につなげる。					
	H23	H24	H25	H26	H27	
	活動団体の活動内容を把握・評価（随時）					
	活動団体との情報交換（随時）					
	活動団体への支援方法を検討（随時）					
	実 施 ・ 継 続					
目 標	<div>今後展開される新たなまちづくり活動</div> <div>◆「水辺の散策路コース（河川内）」の再整備 ◆「水の郷川イベント」の展開 ◆「南山の滝」の整備 ◆「棚田の散策路（休憩所）」の整備 ◆ その他</div>					<div>継続事業</div> <div>◆「じねんじょ・もみじまつり」の検証・継続 ◆「じねんじょ ミニイベント」の検証・継続 ◆「じねんじょ 掘り取り体験」の検証・継続 ◆「笹戸温泉ウォーキング」の検証・継続 ◆「彼岸花」の拡充 ◆ その他</div>
実 績						
【活用できる市の制度・補助など】 ・わくわく事業 ・観光プロモーション事業						

	取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
② 次 世 代 に つ な げ る 絆 づ く り	《住民間交流の充実》 笹戸町の在住者を中心にした交流会を継続していく。 また、将来の人口減への備えとして、交流会を通じて若い世代の「郷土愛」を育むことで、将来にわたり地域を支えてくれる心を繋げていく。					町内会	—
	【目的】 地域住民への交流機会の提供と、交流会を通じて若い世代の「郷土愛」を育み、将来にわたり地域を支えてくれる心を繋げていく。						
	目 標	H23 交流会の実施 町民バーベキュー 秋まつり	H24 交流会の 運営方法 の検討	H25	H26	H27	
	実 績						
【活用できる市の制度・補助など】							
③ 災 害 へ の 備 え	《災害時の避難体制の確保》 集落を点検しながら危険箇所マップを作成し、避難経路を共通認識する。併せて、緊急時の連絡先等個人情報の整理や安否確認方法の確立、災害時行動マニュアル等を作成し避難訓練を実施する。					町内会	自治区 支 所 防災防犯課
	【目的】 災害時に孤立する危険性があるため、災害時の体制づくりと訓練を実施することで、集落全員が確実に避難し被害を最小限に抑える。						
	目 標	H23 指定避難所は 笹戸会館	H24 集落歩きによる 危険箇所マップ作成 避難経路の検討 緊急時個人情報の整理 安否確認の方法の確立	H25	H26 災害時行動 マニュアル作成	H27 災害時行動 マニュアルの 検証・見直し	
	実 績						
【活用できる市の制度・補助など】 ・ 自主防災事業補助金制度 （防災施設整備、防災マップ作成、防災資材整備等）							

明賀組 集落ビジョン2011~2015

清流と蛍のまち 明賀

- ① 地域のつながりを次世代や出身者に広げ、未来につなぎます。
- ② 蛍や花の美しい景色やイベントにより、訪れたい地域をつくります。
- ③ 集落みんなと外部の力を活用して、農地や森林を再生・保全します。

強 み

- ① ふれあいサロンや集まりが適度にあり、地域の絆が強く、高齢者の見守り活動など支え合いも日常生活の中でできている。
- ② 地域にリーダーシップのある人材や地域づくりの担い手がいる。

弱 み

- ① 50代以下の次世代は現在の中心世代に比べてつながりが薄い。
- ② 地形的に災害時に孤立する危険性がある。
- ③ 森林の手入れがほとんどされておらず、土地の境界もわからなくなっている。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 景観・地域づくり	＜花街道づくり＞ 現在、個人で植栽しているしだれ桃、クリスマスローズ、あじさいなどを組全体の地域活動として、街道沿いに植え、景観を整備する。					組	支 所 公園課 公園緑地協会
	【目的】 組全体で植栽活動に取り組み、地域内のつながりを深めるとともに、花いっぱいの美しい景観を整備することで出身者や地域外の住民が訪れたい地域を目指す。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		植 栽 の 実 施					
		草刈等の管理作業					
実績							
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業 ・花のあるまちづくり事業 ・緑化推進事業							
② 次世代・出身者のつながり	＜集落外住民との交流会の開催＞ 現在行っている夏のバーベキュー大会の規模を広げ、出身者を始めとした明賀組につながる人にある人に声をかけ、交流会を開催する。同時に蛍の鑑賞会を行い、明賀の魅力をアピールする。					組	—
	【目的】 地域や地域外住民と触れ合い、つながりを広げ、明賀に愛着を持ってもらう機会を作り、Uターンや外から地域を支えてくれる人材を確保する。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		バーベキュー 交流会開催	転出者への声かけ（電話・手紙）				
		バーベキュー・ほたる鑑賞会開催					
実績	バーベキュー実施						
【活用できる市の制度・補助など】							

	取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
③ 農 地 保 全	《自助・共助による耕作の継続と集落営農の検討》 各世帯でできる限り耕作を行うとともに、地域の若い衆の力を借りて、耕作を継続していく。同時に、集落全体で農地を保全していけるような集落営農の仕組みを検討、実施していく。					組	農 協 農政課 農地整備課 土地改良区
	【目的】 高齢化や機械の維持費負担により、各世帯での耕作が困難で、放棄地になっている土地や今後なりそうな土地を、集落全体や外部の力を活用して、耕作を維持していく。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		自助・共助（若い衆）による耕作の継続					
		集落営農の検討			集落営農の実施		
④ 森 林 整 備	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】・集落営農支援制度 ・農地環境整備事業 ・原材料支給 ・中山間地域直接支払制度 ・山間地営農等振興事業 ・耕作放棄地解消対策事業 ・鳥獣害対策事業 ・野生獣類被害防止対策事業 ・農地復旧等支援事業						
	《森づくり会議の設立》 集落で森づくりに関する話し合いの場を設け、森づくり会議を設立して、森の団地化をめざす。					組	森林課 森林組合
	【目的】 手入れがほとんどされておらず、土地の境界確定が難しくなっている森林を整備し、健全な森づくりを進める。あわせて景観整備を図る。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
⑤ 災 害 へ の 対 応			森づくり会議設立に向けての準備		森づくり会議設立		
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】・森づくり推進事業						
	《災害時の避難体制の確保》 集落を点検しながら危険箇所マップを作成し、避難経路を確認しあい、避難訓練を実施する。同時に、緊急時の連絡先等個人情報の整理や安否確認方法の確立などを行い、明賀組災害時行動マニュアルを作成する。					組	支 所 防災防犯課
	【目的】 地形的に、災害時に孤立する危険性があるため、集落全員が確実に避難でき、被害が最小限に抑えられるような体制づくりと訓練を進める。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			集落歩きによる危険箇所マップ作成		災害時行動マニュアルの作成		災害時行動マニュアルの確認・更新
			緊急時個人情報の整理 安否確認の方法の確立		避難訓練実施		避難訓練実施
			避難経路の作成 避難訓練実施				
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】・生涯学習出前講座による防災意識の啓発 ・自主防災事業補助金制度						

太田組 集落ビジョン2011～2015

- 地域の活力を高め、豊かな里地里山を育む町 太田町 ●
～魅力あふれる田舎暮らしをサポートします～

- ① 様々な資源や魅力を外部にアピールし、太田町ファンを増やします。
- ② 若者をはじめとする Uターン者の定住のための活動を進めます。
- ③ 持続可能な仕組みをつくり、農地や森林を保全します。

強 み

- ① リーダーシップのある人や地域づくり活動に熱心な人など人材が豊富である。
- ② 地域のまとまりがよく、また外部との交流にも積極的である。
- ③ 農地や森林の保全に熱心に取り組んでいる。

弱 み

- ① 60代以上に比べ、50代未満が少ない。
- ② 活動の中心が60代以上の男性が多く、50代以下や女性の層が薄い。
- ③ 森づくり会議を設立した後の団地化・間伐が進んでおらず、活動が停滞している。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援	
① 農 都 交 流	＜太田町の魅力発信と交流事業の展開＞ セカンドスクールや週末ファーマーの実施、旭ぐらし体験事業（お試し居住の館、お試し農園）の支援、福蔵寺ご縁市の開催、千年持続学校の開講などにより都市部との交流を推進する。					組 M-easy 千年持続学校 実行委員会	支 所 農政課	
	【目的】 都市住民との交流を通して太田町ファンを増やし、祭り等地域活動への協力を得るほか、空き家や遊休農地の活用による移住へと結びつけ、地域活力の維持、過疎の抑止を図る。							
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27		
		セカンドスクール事業						
		週末ファーマー（わくわく事業終了）			週末ファーマーの継続			
		旭ぐらし体験事業支援						
ご縁市2回		ご縁市3回	ご縁市3回	ご縁市3回	ご縁市3回			
	千年持続学校 講座開講							
実 績								
	【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業							

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
② 定 住 対 策	＜移住希望者を受け入れる仕組みと雰囲気づくり＞ 地域ぐるみで移住希望者を温かく迎え入れる雰囲気づくりを進めるとともに、I・Uターン者の移住先としての空き家や遊休農地の提供の協力を働きかけるなど、組として定住に向けた取組を展開する。					組 千年持続学校 実行委員会	—
	【目的】 移住希望者の受入基盤を整備し、I・Uターン者の定住促進を図る。また、各種の支援制度や事業を活用し、地域ぐるみの推進体制を構築する。						
		H23	H24	H25	H26	H27	
	目標	空き家や遊休農地の提供の呼びかけ 旭ぐらし体験事業支援 千年持続学校住まいづくり 1戸建築					
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・中山間地域空き家再生事業補助金 ・農山村等定住奨励金							
③ 農 用 地 保 全	＜営農組合の設立と集落営農の推進＞ 中山間地域等直接支払制度の集落協定の加入者の拡大を進めるとともに、営農組合を設立し、機械や施設の共有・オペレーターの育成など、集落ぐるみの営農を進める。あわせて、もち米や蜂屋柿など特産品の開発・商品化や販路の確保にも取り組む。					組	農 協 農政課 農地整備課 土地改良区 産業労政課 商業観光課
	【目的】 太田組員の相互協力により、休耕地・耕作放棄地を出さない仕組みづくりを進めるとともに、赤字額を最小限に抑える営農を目指す。						
		H23	H24	H25	H26	H27	
	目標	獣害対策 【メッシュ・電柵】 有志6戸	営農組合設立		特産品開発・商品化 販路の拡大		
	実績	獣害対策 メッシュ・電柵完了 組合員数志6戸					
【活用できる市の制度・補助など】・集落営農支援制度 ・農地環境整備事業 ・原材料支給 ・中山間地域直接支払制度 ・山間地営農等振興事業 ・耕作放棄地解消対策事業 ・鳥獣害対策事業 ・野生獣類被害防止対策事業 ・農地復旧等支援事業 ・農商工連携・6次産業化支援事業							

取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
③ 農 用 地 保 全	《週末ファーム事業の展開》 組内の有志やわくわく事業を利用した耕作により耕作放棄地を解消する。また、耕作放棄地を活用し、週末の都市住民ファーマーを受け入れ、交流を図りながら、農地の整備を推進する。				組	農政課 農地整備課 商業観光課 産業労政課
	【目的】 太田組員の相互協力により、休耕地・耕作放棄地を出さない営農を目指すとともに、都市住民がメリットを得ながら、実質的に農山村の暮らしをサポートする支え合いの仕組みづくりを進める。					
	目標	H23 2団体 (34名)	H24	H25	H26	H27
		週末ファーム事業				
		営農組合設立				
④ 森 林 保 全	実績	獣害対策 メッシュ・電柵完了 週末ファーム事業 2団体 (34名)				
		【活用できる市の制度・補助など】 ・集落営農支援制度 ・農地環境整備事業 ・原材料支給 ・中山間地域直接支払制度 ・山間地営農等振興事業 ・耕作放棄地解消対策事業 ・鳥獣害対策事業 ・野生獣類被害防止対策事業 ・農地復旧等支援事業 ・農商工連携・6次産業化支援事業				
	《健全な森づくりの推進と景観整備》 森づくり会議による森林の団地化、木の駅プロジェクト参加者の拡大、集落外の森林ボランティアの呼び込みなどにより、間伐を進めていく。あわせて、交通支障木の伐採や陰切りなどを進める。				森づくり会議 木の駅 プロジェクト 参加者 森林 ボランティア	支 所 森林課 森林組合
	【目的】 間伐が進んでいない森林を整備し、豊かな自然環境や山里の美しい景観づくりを目指す。					
	目標	H23 0団地 7名 2団地	H24	H25	H26	H27 3団地 14名
		森づくり会議による団地化の推進				
		木の駅プロジェクト参加者の増加				
		森林ボランティアによる間伐 (福蔵寺)				
		森林ボランティアによる間伐の継続				
	実績	木の駅プロジェクト 参加者7名 間伐2団地				
【活用できる市の制度・補助など】 ・森づくり推進事業						

大坪組 集落ビジョン2011～2015

文化と自然を育み支え合う大坪町

- ① 景観や環境の整備を行い、自然豊かな住みやすい地域づくりを進めます。
- ② 棒の手・打ち囃子のPRや継承を進め、地域の一体感を深めます。
- ③ 歩行者の安全を確保し、支え合い、安心して暮らせる地域づくりを進めます。
- ④ 集落全体で営農体制を検討し、農地の保全に取り組みます。

強 み

- ① 旭地区全体に比べ、人口が多い上、15歳～64歳（現役世代）の人口割合が高い。
- ② 豊田市街地に近く、比較的平地が多いなど地理的・地形的に住環境に適している。
- ③ 棒の手や打ち囃子などの伝統芸能の継承により、集落のまとまりや一体感を高めることができる。
- ④ 笹戸カントリーがあり、訪問者が多いため、外部へのPRが有利な環境である。

弱 み

- ① 直面する大きな課題がないため、現在は集落全体で地域づくりを進めようとする雰囲気薄い。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 景観・地域づくり	＜蒔田和公園一帯の整備と自然資源の活用＞ 地域の玄関口に位置する蒔田和公園に間伐ベンチを設置したり、植栽の手入れを行い、公園一帯を交流の場・憩いの場として整備する。同時に、良好な環境を維持するために、蛸や権現山などの自然資源を生かした景観・地域づくりの可能性を検討する。					組	支 所 地域建設課
	【目的】 組全体で公園整備をし、また、整備した公園を地域の拠点として活用することで、地域住民の交流を図り、つながりを深める。また、地域の魅力資源を発見し、磨きをかけ、地域住民にとって住みやすく自慢のまちを目指すとともに、訪問者が憧れる自然の魅力をアピールする。						
	H23	H24	H25	H26	H27		
		組内へ呼びかけ	歩道内容の協議		休憩所整備 内容の協議		
	目 標	公園整備内容の 協議	間伐ベンチの設置				
		地域の自然資源の活用方法の検討					
	植栽・下草刈等の管理作業						
実 績							
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業							

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
② 伝 統 芸 能 の 継 承	《棒の手と打ち囃子の継承》 起倒流棒の手と丹波大垣内流打ち囃子への参加を子どもを中心に、地域内に広く呼びかける。また、お祭り以外のイベントなどを積極的に利用し、活動を周知させる。					保存会 組	県
	【目的】 伝統文化の継承のほか、地域が一つになって取り組むことにより地域のつながりや世代間のつながりを深める。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	猿投地区（好事例）の情報収集						
	メンバーへ勧誘・子どもへの呼びかけ・イベント参加						
実績	お祭りで披露						
【活用できる市の制度・補助など】・愛知縣市町村振興事業費補助金（文化財）							
③ 安 全 安 心 の ま ち づ く り	《通学路等の安全確保と高齢者の緊急連絡網の整備》 定期的に児童の通学路及び周辺を実際に歩いて、点検・整備を行う。また、高齢者世帯（昼間ひとり暮らし高齢者含む）の緊急時の連絡先や支援体制を整備する。					保護者 組	—
	【目的】 子どもや高齢者などの生活弱者の目線に立ち、地域の安全を確保する取組を行うことで、誰もが安心して暮らせる環境・体制を整備する。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	通学路等の定期点検・整備（年2回）						
	緊急時連絡先・支援体制の整備		緊急時連絡先・支援体制の確認・更新				
実績							
【活用できる市の制度・補助など】							
④ 農 地 保 全	《集落ぐるみの営農体制の検討》 農業機械の共同利用を拡大し、集落営農を検討する。あわせて、遊休農地の解消や効率的な農業に向けて、オペレーターの養成や外部の若手農業経営者の勧誘を検討する。また、市民農園開設の可能性を探る。					組	農政課 農地整備課 土地改良区
	【目的】 比較的安定している農地の現状を今後も維持するとともに、より効率的で負担の少ない農業経営を推進する。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	集落営農検討		集落営農実施				
	オペレーター養成や若手農業経営者勧誘の検討						
実績							
【活用できる市の制度・補助など】・集落営農支援制度 ・農地環境整備事業 ・原材料支給 ・中山間地域直接支払制度 ・山間地営農等振興事業 ・耕作放棄地解消対策事業 ・鳥獣害対策事業 ・野生獣類被害防止対策事業 ・農地復旧等支援事業							

押井組 集落ビジョン2011～2015

山里の暮らしが楽しくなる押井組づくり

- ① 集落の力をあわせて、農地・森林や歴史・民俗芸能を守ります。
- ② 次世代や外部とのつながりを深め、地域の活力を高めます。
- ③ 各世帯が安全安心と環境美化を意識し、集落の生活環境を向上させます。

強み

- ① 地域づくりのリーダーや担い手が多く、地域の絆・まとまりがとてもよく、行事も活発に行われている。
- ② 老人クラブを始め、各種団体の活動が充実しており、組織力が高い。
- ③ 森林や農地の保全に集落全体で計画的かつ積極的に取り組んでいる。
- ④ 棒の手や二井寺普賢院、磨崖仏などの歴史のある資源が継承されている。

弱み

- ① 年代別の人口構成が、50代以上が多く、40代以下が少なく、偏りがかなりある。
- ② 地域全体が急峻な地形で、平地が少なく、防災上も危険性がある。

取組活動と目的					実施主体	支援
① 農地・森林保全	《集落営農の実施と森づくりの推進》 共同作業やオペレーター委託の現状を生かし、集落営農に取り組む。あわせて、農地の有効利用や管理方法の検討を行う。また、森づくり会議による団地化・間伐を進め、健全な森づくりを推進する。				組	農協 農政課 農地整備課 土地改良区 森林課 森林組合
	【目的】 制度の活用や集落による営農体制の確立により、安定している農地の現状を今後も維持するとともに、より効率的で負担の少ない農業経営を目指す。また、健全な森づくりを進め、森林の保全を図る。					
	目標	H23	H24	H25	H26	H27
		県営農地環境整備事業計画策定	農業用施設の再整備推進			
		集落営農検討	集落営農実施			
			農地の有効利用や管理方法の検討・実施			
			オペレーター後継者の養成			
			獣害対策の推進			
			森づくり団地化 ・ 間伐の推進			
			農林道の管理責任者によるパトロール			
実績						
【活用できる市の制度・補助など】・集落営農支援制度 ・農地環境整備事業 ・原材料支給 ・中山間地域直接支払制度 ・山間地営農等振興事業 ・耕作放棄地解消対策事業 ・鳥獣害対策事業 ・野生獣類被害防止対策事業 ・農地復旧等支援事業						

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
② 次世代・出身者とのつながりづくり	《行事等に参加しやすい雰囲気づくりと交流会の開催》 現在行っているサマーフェスタや秋祭りの実施方法を検討し、開催を継続するとともに、参加を促す。また、住民が集う場所や機会を充実し、地域の活動などに子どもや若い世代の意見や力を取り入れ、行事等に参加しやすい環境を作る。					組	—
	【目的】 次世代や出身者等とのつながりを深め、押井に愛着を持ってもらう機会を作り、定住やＵターンする人材のほか、押井の内外から地域を支えてくれる人材を確保する。						
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27	
		サマーフェスタ・秋祭りの継続（開催方法の検討・参加呼びかけ）					
		住民が集う場所づくり・機会づくりの充実					
実績	子どもや若い世代の力の活用 ・ 行事への参加呼びかけ						
	押井サマーフェスタの開催						
【活用できる市の制度・補助など】							
③ 民俗芸能や自然の継承	《伝統的な民俗芸能や食の継承と普賢院周辺の景観整備》 子どもを中心に、見当流棒の手への参加を地域内に広く呼びかける。また、さつき会など女性を中心に、祭礼や行事を通して、地域に伝わる食や味を受け継ぐ。 一方、普賢院周辺の草刈りや植栽を行い、ビオトープ（野生生物が生息する空間、自然の生態系）づくりを進め、景観を整備する。					棒の手保存会 有志 さつき会	支 所 県
	【目的】 伝統芸能や歴史的価値のある文化財を継承するとともに、地域が１つになって取り組むことにより地域のつながりや世代間のつながりを深める。						
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27	
		棒の手保存会会員へ勧誘・子どもを中心に参加（見学含む）の呼びかけ					
		普賢院周辺のビオトープの整備計画			ビオトープの整備		
実績	普賢院周辺の草刈り・植栽						
【活用できる市の制度・補助など】・愛知縣市町村振興事業費補助金（文化財） ・ わくわく事業							

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援	
④ 安全 安心 な ま ち づ く り	＜防災体制の拡充と防犯活動の推進＞ 災害時に備え、緊急時の連絡先等個人情報の整理や安否確認体制の整備、組の防災資材の備蓄を行う。一方、防犯活動として、防犯灯の見直しと再整備を行い、各家庭で門灯点灯活動を推進する。 また、高齢者や子どもの声かけ、見守り運動、通学路の歩道の点検・整備を行う。					組 自治区	支 所 防災防犯課 地域支援課	
	【目的】 災害に備えた準備や体制を整備し、集落全体で災害時の被害を抑える。また、防犯面で灯りの確保や声かけ運動の実施を行い、犯罪を抑止し、安全安心なまちづくりを目指す。							
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27		
		防災資材の備蓄						
		緊急時個人情報 安否確認 ・避難支援体制の整備		情報や体制の確認・更新				
		防犯灯の見直し・再整備						
		門 灯 点 灯 活 動 の 実 施						
	実 績	高齢者・子どもの声かけ・見守り運動及び通学路の整備・点検の継続						
【活用できる市の制度・補助など】・自主防災事業補助金交付制度 ・自治区防犯灯設置費補助金								
⑤ 生 活 環 境 の 向 上	＜陰切りや植栽活動の推進・環境美化＞ 各世帯で花木の植栽や管理、自宅の周辺の美化活動を行うとともに、耕地や道路の周辺を整備し、陽があたるように陰切りを行い、日当たりのよい場所を確保する。あわせて、陰切りをした樹木を炭・薪などに活用する。 また、合併処理浄化槽の設置を進め、生活排水の適正処理に努める。					組	下水道施設課	
	【目的】 植栽や陰切り、清掃、合併処理浄化槽の設置など環境の美化・整備を行い、集落の生活環境を向上させ、清潔で美しく、住みやすいまちづくりを進める。							
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27		
		陰 切 り の 推 進 と 炭 焼 き の 実 施						
		花木の植栽及び管理 ・ 自宅周辺の美化活動						
	実 績	合併処理浄化槽の設置推進						
	【活用できる市の制度・補助など】・合併処理浄化槽設置費補助制度							

加塩組 集落ビジョン2011~2015

● 大カヤの木と出で湯の郷 加塩 ●

- ① 結いを生かし、集落みんなで農地や森林、伝統を守ります。
- ② 集落の魅力を次世代や出身者に伝え、地域の支援者の輪を広げます。
- ③ お役や祭礼・行事を見直し、楽しく暮らしやすい地域づくりを目指します。

強 み

- ① 各分野でリーダーとなって活躍する人が多く、人材が豊富である。
- ② 農作業など「結い」が続いており、祭りを始めとする行事も地域が一体となって行うなど、地域のまとまりがとてもよい。
- ③ 森林や農地の保全にしっかり取り組んでいる。
- ④ 自然や温泉、文化や伝統など地域資源が豊富。

弱 み

- ① 集落の担い手という点で、50代後半以上が多く、40歳以下とその子どもにあたる10歳未満（小学生）が少ない。
- ② 行事やお役が多い。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 農 地 保 全	＜集落ぐるみの営農体制の検討＞ 共同作業や大型農業機械の共同利用を拡大し、集落営農を検討する。あわせて、遊休農地の解消や効率的な農業に向けて、農地の管理方法の検討を行い、オペレーター の養成に取り組む。					組	農政課 農地整備課 土地改良区
	【目的】 安定している農地の現状を今後も維持するとともに、結いを生かした、より効率的で負担の少ない農業経営を推進する。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		集落営農検討		集落営農実施			
		オペレーター の養成や農地の管理方法の検討					
実績	ワイヤーメッシュ を組内全域に設置						
【活用できる市の制度・補助など】・集落営農支援制度 ・農地環境整備事業 ・原材料支給 ・中山間地域直接支払制度 ・山間地営農等振興事業 ・耕作放棄地解消対策事業 ・鳥獣害対策事業 ・野生獣類被害防止対策事業 ・農地復旧等支援事業							
② 次世代や出身者等とのつながりづくり	＜子どもや若い世代、出身者等との交流＞ 地域の活動などに子どもや若い世代の意見や力を取り入れる。また、地域住民の他、出身者等に声をかけ、交流会や祭礼等への参加を促す。					組	—
	【目的】 次世代や出身者等とのつながりを広げ、加塩に愛着を持ってもらう機会を作り、定住やUターンする人材のほか、加塩の内外から地域を支えてくれる人材を確保する。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		交流会の開催		子どもや若い世代の力の活用			
		出身者等への交流会・祭礼等への参加の声かけ					
実績	祇園祭（夏祭り）の 際にバーベキュー実施						
【活用できる市の制度・補助など】							

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
③ 自治機能・役割や行事の見直し	＜お役や行事の内容の見直し＞ 組や自治区のお役など、類似・重複するものを精査し、簡素化・合理化する。また、祭礼や行事も担い手の人数に見合う規模の縮小・簡略化や統合などを検討する。一方、行事の楽しさ・大切さを伝える。					組	—
	【目的】 お役や行事について再考し、簡素化や合理化ができるものを検討するとともに、楽しさをアピールすることで、田舎に暮らすことの「負担感」を減少させる。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	組のお役の軽減・実施及び自治区のお役との調整を提案						
	祭礼・行事の内容の見直し・実施						
実績	小規模な3つの神事を廃止						
【活用できる市の制度・補助など】							
④ 災害への対応	＜災害時の避難体制づくり＞ 緊急時の個人情報の整理や安否確認方法の整備、危険箇所マップの作成を行い、災害別の避難行動（経路・支援体制=避難支援プラン）を確立し、災害時行動マニュアルを作成する。 また、災害時行動マニュアルを基に実践的な避難訓練を実施する。					組	支 所 防災防犯課 高齢福祉課 ぬくもりの里 民生委員
	【目的】 災害時に集落全員が確実に避難でき、被害が最小限に抑えられるような体制づくりと避難訓練を進める。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	危険箇所マップ作成						
	緊急時個人情報の整理						
安否確認・避難方法（支援体制含む）の確立 = 避難支援プラン・災害時行動マニュアルの作成							
緊急時個人情報及び災害時行動マニュアルの確認・更新							
避難訓練実施							
避難訓練実施							
実績	防災訓練						
【活用できる市の制度・補助など】・自主防災事業補助金制度 ・生涯学習出前講座 ・災害時要援護者登録制度							
⑤ 自然資源や伝統文化の伝承	＜祭礼・行事など地域に伝わる伝統の記録＞ 加塩の自然や、大切に受け継いできた祭礼・行事等を写真や動画で撮影し、資料を収集して記録として残す。					組	—
	【目的】 豊かな自然や歴史ある行事などを記録し、集落の宝や魅力を地域内外に広めるとともに、未来へ伝える。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	自然や祭礼等の撮影 及び 資料の収集						
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							

小田組 集落ビジョン2011~2015

小さな集落 大きな家族 小田町

- ① 集落みんなや出身者等と力を合わせて、農地や森林を保全します。
- ② 集落全体が家族のように支え合い、安心して暮らせるまちづくりを進めます。
- ③ 一人ひとりが健康で元気に暮らし、無理のない活動を継続します。

強 み

- ① 小規模集落なりに、常会やふれあいサロンなど集まりが適度にあり、地域の絆が強い。また、親密別居者の常会等への参加・ＵＩターン世帯の存在、他集落との連携など、集落機能が柔軟な形で維持されている。
- ② 組の活動やお役・組費が集落規模に応じた無理のない状態になっている。
- ③ 農地や森林の保全に前向きに取り組んでいる。

弱 み

- ① ５０代後半と６０代前半の人口は多いが、４０歳以下の後継者がいる世帯が少ない。
- ② 小規模集落として安定しているものの、世帯数が少ないため、一部の世帯の転入・転出等の変化の影響を受けやすい。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 農 地 保 全	《自助・共助による耕作の継続と集落営農の検討》 各世帯でできる限り耕作を行うとともに、集落全体で農地を保全していけるような集落営農の仕組みを検討、実施していく。					組	農 協 農政課 農地整備課 土地改良区
	【目的】 集落全体や外部の力を活用して、機械の維持費負担の軽減などを図り、安定している耕作の現状を維持していく。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		自助・共助による耕作の継続					
		集落営農の検討			集落営農の実施		
実績							
【活用できる市の制度・補助など】 ・集落営農支援制度 ・農地環境整備事業 ・原材料支給 ・中山間地域直接支払制度 ・山間地営農等振興事業 ・鳥獣害対策事業 ・野生獣類被害防止対策事業 ・農地復旧等支援事業							

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
② 森 林 整 備	《森づくり会議による団地化と間伐の推進》 集落で森づくり会議を設立し、森づくり会議による団地化・間伐を進める。					組	森林課 森林組合
	【目的】 森林を整備し、健全な森づくりを進めるとともに景観整備を図る。						
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27	
		森づくり会議設立					
	実績	森づくり会議設立					
【活用できる市の制度・補助など】・森づくり推進事業							
③ 集 落 機 能 維 持	《常会(お念仏)と祭礼の継続》 全世帯が参加する毎月の常会(お念仏)を継続する。また、祭礼も集落の集いの機会として継続し、できるだけ多くの人に参加するとともに、祭礼などには出身者等にも声をかける。					組	—
	【目的】 集落の全世帯が集まり、会話を交わし、コミュニケーションを図るとともに、高齢者の様子や組の活動など情報交換し、集落機能を維持する。						
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27	
		常会(お念仏)の継続・祭礼の継続					
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							
④ 高 齢 者 支 援	《ふれあいサロンや日常の高齢者の見守りの継続》 ふれあいサロンの実施や日常の見守り・声かけなど高齢者の安否確認を継続する。					組	ぬくもりの里 民生委員 高齢福祉課
	【目的】 高齢者世帯(ひとり暮らし含む)を始め、誰もが住み慣れ、安心して暮らせる集落の現状を維持する。						
	目 標	H23	H24	H25	H26	H27	
		ふれあいサロン・日常の見守りや声かけ等の継続					
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・地域ふれあいサロン・災害時要援護者登録制度							

神野組 集落ビジョン2011～2015

温泉・溪流・山桜の里

- ① 地域の人材や資源を活用し、地域の活力と魅力に磨きをかけます。
- ② 住民同士が交流を深め、地域の一体感や集落の機能を高めます。
- ③ 集落全体で高齢者の支援体制を整備し、安心な地域づくりを進めます。

強 み

- ① 旭地区の中で、人口が多い上、15歳～64歳の現役世代の人口割合が高く、10代、20代、50代が比較的多い。
- ② 溪流、温泉、山桜などの資源が豊富で、農村舞台のある野見神社も格式が高い。
- ③ 資源の多い能見地区において、地域づくりが熱心に行われている。
- ④ 他集落に比べ、女性の活動が活発である。また、空き家バンクを利用して1ターンした夫妻が地域になじみ、移住の好事例となっている。

弱 み

- ① 班ごとの活動が中心で、組は班の集合体となっており、組全体の行事などがなく、組としての一体感や一緒になって地域づくりに取り組む意識が薄い。
- ② 人口や地域資源の多少の違いから、地域活動が一部の班に偏っている。
- ③ ひとり暮らし高齢者世帯が多く、特に、万根町ではほぼ全世帯がひとり暮らし高齢者世帯である。
- ④ 面積が広く、高低差も大きいので、地域のつながりを深めるのが難しい。

取組活動と目的						実施主体	支援
① 地域・景観づくり	＜組一体で取り組む地域資源の活用と景観整備＞ 現在行われている花壇づくりや散策路整備などを組全体に拡大する。あわせて、山桜や溪流、温泉などの地域資源や野見神社・能見城址などの歴史的・文化的資源の活用方法を生かした地域づくりや景観整備を進める。					組	支 所 公園課 公園緑地協会
	【目的】 既存の地域資源の活用方法の検討や能見地区の地域づくりの活動を組内に拡大することで、組の一体感を醸成するとともに、魅力ある地域づくりを目指す。						
	目標	H23 (能見地区) 花壇整備・ 散策路整備	H24	H25	H26	H27	
			参加者の拡大・花壇整備箇所の拡大 (神野全体) 地域イメージの検討			景観整備 (神野全体)	
	実績	コスモス植栽 「花壇の園」 散策路整備					
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業 ・花のあるまちづくり事業 ・緑化推進事業							

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
② 地域のつながりづくり	＜組全体の親睦行事の開催＞ 景観整備を進めた場所での花見や昼食会、日帰り旅行などを組全体で計画・開催し、楽しい組づくりを進める。					組	—
	【目的】 地域住民が集まり、親睦を深めることで、組内で気軽に話せる雰囲気を作り、班や世代間のつながりを深める。あわせて、組としての機能や結束を高める。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	親 睦 行 事 の 検 討 ・ 開 催						
③ 高齢者支援	＜高齢者の見守り活動の推進と災害時の支援体制の確立＞ 消防団の巡視を活用した見守り活動や、果樹などの収穫を兼ねた声かけボランティアなど多様な方法による高齢者の見守り・声かけ体制を検討し、整備する。また、高齢者世帯（昼間ひとり暮らし高齢者含む）の緊急時個人情報や支援体制を整備する。					消防団組	民生委員 ぬくもりの里 高齢福祉課
	【目的】 組全体で高齢者の見守り活動に取り組み、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを進める。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	多様な見守り・声かけ活動の検討・体制整備（消防団の巡視や果樹の収穫に絡めるなど） 緊急時個人情報の整備 避難支援体制の確立 避難支援プランの作成					消防団巡視時の見守り活動の実施 声かけボランティア活動の実施 緊急時個人情報の確認・更新 避難支援プランの確認 ＝高齢者の避難支援訓練	
④ 地域活性化	＜人材と食材の活用による生きがいづくりと魅力づくり＞ 高齢者を始め地域住民の食に関する知識、知恵・技を伝え合い・教え合う場を設ける。あわせて、新規農業従事者を中心に、地域内の食材や資源を活用した商品・サービスの開発の可能性や無人野菜販売所の活用方法などを検討する。					組	支 所 農政課 商業観光課 産業労政課
	【目的】 食に関する知恵や技を伝え、一人ひとりの生きがいづくりを進めるとともに、地域の食文化を引き継ぐ。また、地域の食材を生かすことで、地域に存在する資源の価値や良さ・豊かさを再認識し、新たな利活用につなげ、地域活性化を目指す。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	味噌づくり講座					料理教室など実施方法の検討	地元の食材を利用した料理教室や講座の開催 商品・サービスの開発の検討 ・ 無人販売所の活用方法の検討
【活用できる市の制度・補助など】・ひとり暮らし高齢者等登録制度 ・災害時要援護者登録制度							
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業 ・農商工連携・6次産業化支援事業 ・ソーシャルビジネス支援事業							

杉本組 集落ビジョン2011～2015

貞観の歴史と文化が息づく杉本町

- ① 貞観杉や神明神社など地域資源を活用し、魅力ある地域づくりを進めます。
- ② 祭礼や伝統芸能の継承を通して、組の一体感やつながりを深めます。
- ③ 班ごとの祭礼・伝統行事を守り、コミュニケーションや絆を大切にします。

強 み

- ① 旭地区の中で、人口が多い上、年代による人口の偏りも少なく、高齢化率も低めである。
- ② 小中学校やこども園などの教育施設、駐在所、郵便局、事業所が地域内にあり、住環境に恵まれている。
- ③ 貞観杉や神明神社など地域の核となる貴重な資源や、棒の手・打ち囃子などの継承により、組の一体感を高めることができる。

弱 み

- ① 組の規模が大きいため、班ごとの活動が中心で、組が一体となって地域づくりに取り組む意識が薄い。
- ② 居住年数の短い住民の一部に、地域活動への参加が少ない傾向があり、古くから住んでいる住民とのつながりが弱い。

取組活動と目的					実施主体	支 援	
① 地域・魅力づくり	《貞観杉・神明神社を生かした周辺の整備》 貞観杉・神明神社など歴史や格式のある資源を中心に、エビネ群生地しだれ桜、六地藏など周辺の名所を周遊できるように、一体的に整備する。				組	支 所	
	【目的】 組全体で貞観杉・神明神社周辺を整備することで、住民の交流を図り、つながりを深める。また、貞観杉・神明神社を組のシンボル・柱として認識し、組の一体感を高める。あわせて、他の魅力資源を再発見し、磨きをかけ、地域住民の誇りとなるまちを目指すとともに、外から訪れたくなるまちづくりを目指す。						
	H23	H24	H25	H26	H27		
	目 標	周遊ルート・整備内容の検討		散策路の整備		散策マップの作成	
		名所の由緒の調査・作成		案内看板整備			
草刈り・清掃等作業の実施							
名所・祭礼（春・秋）のPR							
実 績							
	【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業						

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援	
② 祭礼と伝 統芸能 の継承	《神明神社大祭の継続と棒の手・打ち囃子の継承》 祭りの開催時間や高齢者の送迎の確保など、参加しやすい方法を検討するとともに、組内の住民の他、出身者や旭工業の従業員など、祭りへの参加を広く呼びかけ、実施する。また、棒の手・打ち囃子は、子どもを始め、地域内へ参加を呼びかける。					組	県	
	【目的】 祭りや伝統芸能の継承のほか、地域が 1 つになって取り組むことで組や世代間のつながりを深める。また、祭りをきっかけに出身者等の地域への愛着や支援を呼びおこす。							
	目標	H23	H24	H25	H26	H27		
	神明神社大祭の継続（開催方法の検討や組内・出身者等への参加呼びかけ）							
	棒の手・打ち囃子（みこしの担ぎ手）の参加呼びかけ							
実績								
【活用できる市の制度・補助など】・愛知県市町村振興事業費補助金（文化財）								
③ 景 観 づ っ く り	《津島神社周辺及び白石川周辺の景観整備》 沢尻班 津島神社への歩道や公園を整備し、しだれ桜を植栽する。また、弘法山の整備（遊歩道・植栽）について検討する。 白石班 白石川や県道沿いに、四季を感じられる花木の植栽を行う。					沢尻班 白石班	支 所 公園緑地協会 公園課	
	【目的】 地域（班）住民が一緒になって、自分たちの記憶に残る地域づくりを行い、絆を強める。あわせて、先祖から伝承された神社・石仏や心に残る景観を後世に遺し、誇りとなるまちを目指すとともに、訪問者が憧れる魅力をアピールする。							
	目標	H23	H24	H25	H26	H27		
	＜沢尻班＞しだれ桜植樹（10本）					弘法山遊歩道・植栽の整備検討		
	＜沢尻班＞津島神社周辺の草刈り・歩道整備					公園整備		
＜白石班＞白石川沿 い等の植樹計画		＜白石班＞わくわく 事業申請・植樹実施		＜白石班＞植樹継続・拡大				
実績								
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業 ・緑化推進事業 ・花のあるまちづくり事業								
④ つな が り づ っ く り・ 集 落 機 能 維 持	《班ごとの祭礼等の継続とコミュニケーションの場づくり》 班内の他、出身者にも呼びかけて行っている、班それぞれの祭礼や伝統行事を継続する。また、神社等の管理、樹木の手入れなど奉仕作業や共同作業を班の住民で協力して行い、交流を深める。					源重・九沢班 大垣内班	—	
	【目的】 全員参加の祭事等の継続の他、共同作業などを通し、班内の交流やコミュニケーションを図ることで、つながり・絆を深め、高齢者の見守りなど集落の機能を維持し、楽しく安心して暮らせる班づくりを進める。							
	目標	H23	H24	H25	H26	H27		
	＜源重・九沢班＞御九日祭・阿弥陀祭など祭礼等の継続 共同作業を通じた地域住民の状況把握							
	＜大垣内班＞ 初弘法など祭礼等の継続 共同作業を通じた地域住民の状況把握							
実績								
【活用できる市の制度・補助など】								

東萩平組 集落ビジョン2011～2015

縁結びの岩お須原山 文化の香る里 東萩平町

- ① 自然や歴史的・文化的な資源を生かした魅力あるまちづくりを進めます。
- ② 外部の力を活かし、地域の活性化や自然環境の保全に取り組みます。
- ③ 地域住民が安心して暮らせるように、助け合い・支え合いを広げ、深めます。

強 み

- ① 地域活動に精通した人や、前向きに取り組む人が多い。
- ② お須原山を始め、自然や歴史的・文化的な資源が豊富にある。
- ③ 他地域の住民や組織との交流・移住受入活動や新しい取組に対して積極的である。
- ④ 豊田市街地に近く、比較的平地が多いなど地理的・地形的に住環境に適している。
- ⑤ 笹戸カントリーが近く、訪問者が多いため、外部へのPRが有利な環境である。

弱 み

- ① 人口構成が、50代以上が多く、30代・40代がとても少ない。
- ② 75歳以上のひとり暮らしや昼間のみひとり暮らしの高齢者が集落の世帯の4割を超えている。

取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
①地域資源を生かした魅力づくり	《お須原山周辺の自然・パワースポットや文化的な資源の活用》 お須原山周辺散策や縁結び岩・子授けの神様などのパワースポット周遊、牛馬窯や和紙（森下和紙発祥の地）などの工芸文化を一体的にアピールするとともに、体験型周遊観光の仕組みを検討し、展開する。				組	支 所 観光協会 商業観光課
	【目的】 地域の文化的な資源・言い伝えや風景を生かし、散策や周遊することが楽しく、訪れたい地域づくりを進めるとともに、一体的・戦略的な地域イメージを創出する。					
	H23	H24	H25	H26	H27	
	お 須 原 山 整 備 （散策道・植栽等）					
	眺望看板の作成					
	パワースポットのご利益を生かしたグッズの開発・販売					
	笹戸温泉・自治区等との連携も含めた体験型周遊観光の検討・実施					
	お蔵展の開催	お蔵展の充実	お蔵展の開催継続			
	工芸体験イベントの検討・開催					
	薬師堂周辺の整備計画・実施					
実績						
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業						

取組活動と目的						実施主体	支援
② 交流活動・移住受入活動	＜地域外住民や企業・組織との交流活動の展開＞ 住友ゴム工業㈱のお須原山整備の継続を始め、花や実のなる木の植栽活動などを通して地域外住民や組織との交流を展開していく。一方、地域の負担にならないような交流の仕組みを検討し、実施する。					組	—
	【目的】 訪問者を増やし、交流を進め、地域に愛着を持ってもらうことで、地域活動の担い手を確保する。その上で、移住希望者の取り込みを図る。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							
③ 自然環境の保全	＜地域ぐるみの営農体制の確立と森づくり会議の推進＞ 農地環境整備事業（敷島自治区の魅力ある地域づくりの会）を利用し、農地環境を整備するとともに、オペレーターの育成など集落営農に努める。また、森づくり会議による団地化・間伐を進め、健全な森づくりを推進する。					組	農 協 農政課 農地整備課 土地改良区 森林課 森林組合
	【目的】 制度の活用や地域住民の相互協力により、農地管理や森林保全の現状を維持できるように、負担が少なく、より効率的で安定した農林業の経営を目指す。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】 ・集落営農支援制度 ・農地環境整備事業 ・原材料支給 ・中山間地域直接支払制度 ・山間地営農等振興事業 ・耕作放棄地解消対策事業 ・鳥獣害対策事業 ・野生獣類被害防止対策事業 ・農地復旧等支援事業 ・森づくり推進事業							
④ 高齢者支援	＜高齢者の生きがいづくりと災害時の支援体制の確立＞ 高齢者支援グループ「ささゆりサポーター」が行う「いきいき広場」や訪問活動を継続するとともに、参加者やサポーターを拡大する。また、災害に備え、高齢者の緊急時個人情報や避難支援体制を整備する。					ささゆり サポーター 組	ぬくもりの里 民生委員 高齢福祉課 地域保健課
	【目的】 組全体で高齢者の生きがい支援や見守り活動に取り組み、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを進める。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】 ・ひとり暮らし高齢者等登録制度 ・災害時要援護者登録制度							

旭八幡町 集落ビジョン2011~2015

心ふれあう八幡神社、つくばねの里

- ① 住民みんなが生き生きと楽しく暮らせる集落を目指します。
- ② 貴重な天然資源を守っていきます。
- ③ 築羽地域の心のよりどころ、八幡神社を持続していきます。

強 み

- ① 今、集落を担っている 60~70 歳代が元気である。
- ② ツクバネなど天然資源が残っている。
- ③ 旭高原、八幡神社、フラワーセンター、ライスセンターなど旭地区の基幹施設が存在する。

弱 み

- ① 高齢化が顕著で 5 年先・10 年先の集落維持が苦慮される。
- ② 農業の担い手が少なくなり、農地の荒廃が心配である。
- ③ 八幡神社の維持が八幡集落だけでは困難になってきている。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 生きがいのつくり	《楽しみを見つける会》 旭八幡でこれから住民みんなが楽しく生きていけるよう、「楽しみを見つける会」を開き、老・若・男・女ごとにテーマをみつけ、それを実行していく。					組	支 所
	【目的】 地区住民のふれあいを増やし、絆を深め、日々の生活を張り合いのある楽しいものにする。						
	目標	H23	H24 会の開催・ テーマの決定	H25	H26	H27	
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業						
② 地域天然資源の活用	《ツクバネ・カタクリ等の山野草資源の活用》 ツクバネ・サクライソウ（県の文化財）やカタクリの自生地地の拡大を図る。旭八幡の山野草を地域内外の多くの人に楽しんでもらうよう鑑賞会を開催する。					組	森林課 文化財課
	【目的】 地域の天然資源を保全・拡大し、多くの人にその魅力を発信することにより、区域外の人に旭八幡に親しんでもらうとともに、地域住民の融和・生きがいのつくりにつなげる。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業 ・文化財保存事業費補助金（保存維持・郷土関係事業）						

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
③ 過疎化の歯止め対策	《新たな旭八幡住民の発掘・出身者へのつながり作り》 空き家や住宅可能地を発掘し、移住者や出身者を受け入れる。旭八幡の出身者に組の年間行事予定表を年度初めに送付するとともに、行事ごとに案内状（招待状）を送り、八幡に帰る機会を増やす。					組	支 所
	【目的】 人口減少に歯止めがかからない現状を打破し、次の世代に引き継がれるような集落を目指す。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		空き家・宅地の調査及び新住民の受入					
		年間行事予定表・案内状を送付					
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・空き家情報バンク ・ 2戸2戸作戦							
④ ふれあいの場・健康づくり	《地域ふれあいサロン・健康づくり体操を実施する。》 月に1回程度、みんなが集まりおしゃべりや健康体操を実施する。					組	地域保健課 ぬくもりの里
	【目的】 地域住民（特に高齢者）が、仲間とふれあい、またいつまでも健康で暮らせるよう、みんなで健康づくりを行う。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		月1回のふれあいサロン・健康体操実施					
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・地域ふれあいサロン ・ 里山健康学び舎教室							
⑤ 地域文化の伝承	《郷社八幡神社の大祭の持続可能な方法を検討・実施する。》 検討する組織（委員会）を立ち上げ、旭八幡以外の集落も巻き込み持続する方法を検討する。方法が確立されたら実施していく。					組	築羽地域集落文化財課
	【目的】 築羽地域の最大の祭り「郷社大祭」が旭八幡の負担になっていることを鑑み、負担の軽減をし、将来にわたって持続できるように取り組む。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		組織立上げ・検討		打開策の実施			
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・文化財保存事業費補助金（保存維持・郷土関係事業（郷土芸能保存維持事業））							

伊熊組 集落ビジョン2011~2015

みんな元気に楽しく暮らせる村づくり

- ① 組内のつながりを大切にしながら、みんな元気で暮らします。
- ② 地域の資源を活用し、心豊かな暮らしを目指します。
- ③ 交流を通して次世代の担い手をつくります。

強 み

- ① 伊熊神社の社叢を始めとする豊かな自然環境がある。
- ② 森づくり会議など地域ぐるみの農地・森林保全活動に積極的に取り組んでいる。
- ③ 元気な高齢者が多い。
- ④ 伊熊町出身者との交流がある。

弱 み

- ① 40・50歳代の担い手が少ない。
- ② 農作物（農地）の獣害や耕作放棄地の増加が懸念される。
- ③ スギ・ヒノキ等の樹木が、生活の支障になっている（道路の凍結、車両や歩行者の通行に支障、農地や家屋等を日陰にしている）。

取組活動と目的						実施主体	支援
① 健康づくり	＜「健康づくりの日」の実施＞ 毎月第一木曜日の午前9時30分から地域ふれあいサロンを実施する。終了後に会食を行う。					組	地域保健課 ぬくもりの里
	【目的】 高齢者を中心に、地域ふれあいサロンで心身の健康維持増進を図る。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	実施・継続						
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・健康教育講師派遣 ・地域ふれあいサロン ・里山げんき保健事業 ・ヘルスサポートリーダー（健康ボランティア）							
② 地域資源の活用	＜伊熊暮らしを楽しもう会の開催＞ 四季折々の地元の農産物を生かした料理をつくったり、郷土の先人が培ってきた暮らしの知恵を学んだりして、伊熊暮らしをみんなで楽しむ。					組	支 所
	【目的】 伊熊の豊かな自然が育む農産物を使った料理や先人の知恵を学ぶことで、地域資源を再確認し、今後の生活に役立てる。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	伊熊の旬を食す会の継続・先人の知恵を学ぶ会の開催						
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							

取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
③ 農地保全	《伊熊営農クラブ》 もち米の生産、各戸で生産された米や野菜の販売、資材の購入などを共同で実施する。				組	農政課
	【目的】 伊熊に合った集落営農を検討するために、気の合う少数の仲間で営農クラブを立ち上げ実践を積み重ねる。					
	目標	H23 検討	H24 発足・活動開始	H25	H26 継続	H27
	実績					
	【活用できる市の制度・補助など】・山間地営農等振興事業（県補助事業）（市単独事業）					
④ 農業活性化	《伊熊の「うまいもん市」の開催》 時季に応じて、野菜など農産物を軽トラックに載せて直売を実施する。				組	農政課 農 協
	【目的】 伊熊で生産される旬の野菜やブルーベリーなどを都市部の消費者等向けに直接販売し、収入を得るとともに伊熊町の魅力を広く伝える機会とする。					
	目標	H23	H24 実施方法等 検討	H25 開催	H26 継続	H27
	実績					
	【活用できる市の制度・補助など】・ファーマーズマーケット定期市					
⑤ 生活環境の整備	《陰切りの実施》 道路、農地、家屋敷などを暗くしている木を伐採する。				組	支 所 旭木の駅 プロジェクト 実行委員会
	【目的】 交通に影響が及ぶこと、農地や家屋敷に日が当たらないことを解消するために、支障となっている木々を伐採し、住みよい環境づくりを実施する。					
	目標	H23	H24 調査・検討	H25 活動開始	H26 継続	H27
	実績					
	【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業 ・旭木の駅プロジェクト					

取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
⑥ 関係者との交流	＜町外居住の伊熊町出身者等との交流＞ 年 2 回の交流ゴルフ大会の継続や伊熊暦（年中行事）の作成及び配付、新規交流事業としてブルーベリーの栽培・収穫作業や収穫祭等を企画し交流を図る。				組	—
	【目的】 現在実施されている行事を継続し、新たな交流のための行事を組内の行事等と絡めながら実施することで次世代の担い手づくりの契機とする。					
	目標	H23	H24	H25	H26	H27
	実績					
【活用できる市の制度・補助など】						
⑦ 高齢者等の見守り支援	＜日常の見守り等や災害時の支援体制確保＞ これまで進めてきた日常的な見守り・安否確認等を継続するとともに、災害時要援護者の支援体制整備についても検討する。				組	支 所 高齢福祉課 防災防犯課
	【目的】 集落住民の支え合いを継続維持する。高齢期を迎えてひとり暮らしになっても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる集落づくりを目指す。					
	目標	H23	H24	H25	H26	H27
	実績					
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業 ・災害時要援護者登録制度 ・危険箇所マップ作成						

伯母沢組 集落ビジョン2011~2015

安産の神様妙義神社 銀杏大木の郷 伯母沢町

- ① 集落の宝「歴史ある文化財」を生かします。
- ② 日ごろの絆を大切に、安心して暮らせる集落をつくれます。
- ③ 集落みんなで美しい景観を守り育てます。

強 み

- ① 妙義神社や大銀杏など歴史的文化財がある。
- ② 毎月常会を開催したり、近所づきあいによる高齢者への声かけなど集落の絆がある。

弱 み

- ① 人口減少と高齢化が進む。
- ② 高齢化等により市道の草刈り等の出役者が減少傾向にある。
- ③ 今後、耕作放棄地の増加が懸念される。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 文化財整備	＜文化財周辺整備＞ 文化財の説明看板設置や散策道整備についての検討をする。					組	支 所
	【目的】 文化財の案内・説明看板等の設置と散策道の整備をし、来訪者が楽しめるようにする。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	検討						
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業							
② 出身者等との交流	＜出身者等との交流の機会づくり＞ 伯母沢町出身者やその関係者などに声をかけ、お祭りなどに参加してもらおう。特に、「木造十一面観世音菩薩像」の7年に一度の御開帳の折（平成25年）には、多くの人を呼べるようにする。					組	—
	【目的】 伝統行事等に出身者等を呼び込み、今後の担い手づくりの契機とする。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	検討 実施						
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							

取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援	
③ 景観整備	《美しい集落の景観づくり》 陰切りの実施や花木等の植栽を行う。				組	支 所 木の駅プロジェクト実行委員会 公園課 公園緑地協会	
	【目的】 道路等に支障（交通の妨げ、日陰）のある木々を伐採し、住みよい環境づくりをする。 また、美しい集落の魅力をさらにアップさせるため、山や道路沿いに花木等を植栽する。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			検討	実施			
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業 ・旭木の駅プロジェクト ・花のあるまちづくり事業補助金 ・緑化推進事業助成金							
④ 健康づくり	《健康づくり》 月に1回程度集まって、健康づくりをする。				組	地域保健課 ぬくもりの里	
	【目的】 高齢者を中心に健康維持増進を図るとともに、交流の場とする。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			検討	実施・継続			
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・健康教育講師派遣 ・地域ふれあいサロン ・ヘルスサポートリーダー（健康ボランティア） ・里山げんき保健事業							
⑤ 高齢者の見守り支援	《見守りや緊急時の支援》 これまで進めてきた日常的な見守り・安否確認等を継続するとともに、緊急時（災害や疾病等）の支援体制についても検討する。				組	支 所 高齢福祉課 防災防犯課	
	【目的】 集落住民の支え合いを継続維持する。高齢期を迎えひとり暮らしになっても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる集落づくりを目指す。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		日常的な近所づきあいによる高齢者の見守り					
			検討	実施・継続			
実績							
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業 ・災害時要援護者登録制度 ・生涯学習出前講座 ・危険箇所マップ作成							

日下部組 集落ビジョン2011～2015

梅花の香る里 日下部

- ① 日頃のつきあいを基本に、地域のつながりを大切にします。
- ② みんなで協力しながら、すばらしい自然環境を守ります。
- ③ 高齢者が元気で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

強 み

- ① 旭地区の観光名所である最光院の梅園が存在している。
- ② 中山間地域等直接支払制度などを活用し、地域ぐるみの農地・森林保全活動に積極的に取り組んでいる。

弱 み

- ① 老人クラブ等の活動がなくなり、住民が集まる機会が減ってきている。
- ② 耕作放棄地の増加が懸念される。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
組 の つ な が り	① ＜常会の定例開催＞ 常会を毎月定例で開催し、組の住民が集まる機会とする。					組	—
	【目的】 常会を定例化し、組内の情報交換の場に位置付ける。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		定 例 常 会 の 開 催					
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							
福 祉 の 向 上	② ＜独居高齢者や高齢者世帯の見守り＞ 隣・近所による日頃の声かけや上納帳の配付時の面会などで、安否確認を行う。					組	—
	【目的】 全世帯の30%を占める高齢者世帯（単身者含む）が安心して暮らせるように日頃のつながりを大切にしながら安否確認を行う。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
		隣・近所による声かけ					
		上納帳の配付当番による面会					
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							

取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
③ 健康づくり	《健康づくり活動の実施》 健康づくり活動（体操や散策など）やおしゃべりの会を公会堂で月1回程度実施する。				組	ぬくもりの里 地域保健課
	【目的】 高齢者を中心に健康づくり活動等を通して、住み慣れたところで今後も元気に暮らせるようにする。					
	目標	H23	H24 検討 (地域ふれあい サロン等)	H25	H26	H27
				決定取組活動実施・継続		
	実績					
【活用できる市の制度・補助など】・地域ふれあいサロン ・里山健康学び舎教室						
④ 農地保全	《集落ぐるみの農地保全の実施》 耕作放棄地の現状を把握し、中山間地域等直接支払制度活用の継続など集落全体で農地を保全したり、景観を維持する活動について検討する。				組	農政課
	【目的】 美しい農村風景を今後も維持するために、目立ち始めた耕作放棄地の解消を進めながら集落全体での農地保全について検討し、実施する。					
	目標	H23	H24	H25	H26	H27
		各世帯での耕作継続				
			耕作放棄地 現状調査	対策の検討	実 施	
	実績					
【活用できる市の制度・補助など】・中山間地域等直接支払制度 ・山間地営農等振興事業（県補助事業）（市単独事業）						

小畑町 集落ビジョン2011~2015

「人情と元気のあふれる里」小畑

- ① これからも集落の和を大切にして、地域の絆を深めます。
- ② 健康で安心して暮らせる地域づくりを進めます。
- ③ 森づくりや田園風景を守り育て、住みたい、住んでよかった地域をつくれます。

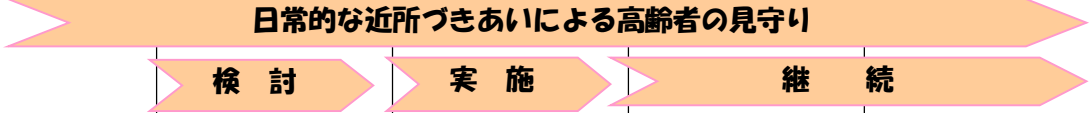
強 み

- ① 集落にまとまりがある。
- ② 国・県道に近く都市部への交通の便がよい。
- ③ 森づくりや中山間地等直接支払制度による集落協定など山林や農地保全に積極的に取り組んでいる。

弱 み

- ① 人口が減少、高齢化が進み不安がある。
- ② 農地の獣害や耕作放棄地の増加が懸念される。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① ふ れ あ い 交 流	＜集落みんなで楽しむ会＞ 集落みんなで楽しめることを企画する。具体的には、おいしいものを食べる会を開催したり、みんなで楽しくお茶を飲んだり、おしゃべりできる憩いの場「地域カフェ」を検討・整備をする。					組	—
	【目的】 集落のみんなが集まって、楽しむ機会をつくる。集まることで絆をさらに深め、地域を元気にさせる。						
	目標	H23	H24 検 討	H25 実 施	H26 継 続	H27	
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業						
② 農 地 保 全	＜集落営農の検討＞ 耕作の継続による農地保全や集落営農による農地保全を検討する。					組	農政課
	【目的】 今後、高齢化や担い手不足により耕作放棄地等が懸念されるので、集落全体で農地保全について検討する。						
		H23	H24	H25	H26	H27	
		各世帯での耕作継続					
			集落営農の検討		実 施 ・ 継 続		
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】・中山間地域等直接支払制度 ・ 山間地営農等振興事業（県補助事業）（市単独事業）						

取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
③ 高齢者等の見守り支援	＜日常の見守り等や災害時の支援体制確保＞ これまで進めてきた日常的な見守り・安否確認等を継続、発展させるとともに、災害時要援護者の支援体制整備についても検討する。				組	高齢福祉課 防災防犯課
	【目的】 集落住民の支え合いを維持・継続する。高齢期を迎えてひとり暮らしになっても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる集落づくりを目指す。					
		H23	H24	H25	H26	H27
	目 標					
	実 績					
【活用できる市の制度・補助など】 ・災害時要援護者登録制度 ・生涯学習出前講座 ・危険箇所マップ作成						

惣田組 集落ビジョン2011～2015

住んでよかったそうだのまち

- ① 誰もが安心して暮らしていける集落をつくります。
- ② 豊かな自然環境を大切にしながら住みよいまちを目指します。
- ③ 町外在住関係者との交流を通して集落機能の維持に努めます。

強 み

- ① 中山間地域等直接支払制度の集落協定や森づくり会議など集落ぐるみの農地・森林保全活動に積極的に取り組んでいる。
- ② 津島神社のイチョウなど豊かな自然環境が保たれている。
- ③ 県道が通り、国道にも近く交通の便がよい。

弱 み

- ① 後継者が戻ってくるか不明である。
- ② 高齢化の進行が懸念される。
- ③ 集落の環境整備の負担や耕作放棄地の増加が懸念される。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 集落のみんなが集まる機会づくり	＜常会の定期開催等＞ 常会を定期的に行い、各種の情報交換をする。また、集落ぐるみでの花作り等について検討する。					組	支 所 公園課 公園緑地協会
	【目的】 集落のコミュニケーションの推進のために、常会の定例化や花作り等に取り組む。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			常会の定期開催				
			花作り等の検討	実施			
② 関係者との交流	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業 ・花のあるまちづくり事業補助金 ・緑化推進事業助成金						
	＜町外在住の関係者との交流＞ 県市道の草刈りを町外在住の子どもたちなどと一緒にやり、終了後にバーベキュー大会等を行う。					組	—
	【目的】 町外在住の関係者に声をかけて、県市道の草刈りの従事者を維持・充実しながら、交流を図り、今後の担い手づくりの契機とする。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
					検討（町外在住者への声かけ・お楽しみ会）		
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							

取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
③ 農地の管理	＜集落ぐるみの農地保全＞ 各世帯で農業を継続する。ただし、それが困難になったときには組の中で協力しながら農地の保全を行う。				組	農政課 旭地域 営農協議会
	【目的】 各世帯で耕作を継続することを基本としつつ、継続が困難となった場合には組の中で協力体制を築き、農地を守っていく。					
	目標	H23	H24	H25	H26	H27
		自力耕作の継続				
			協力体制の検討		協力体制の構築	継続
実績						
【活用できる市の制度・補助など】・中山間地域等直接支払制度 ・集落営農 ・山間地営農等振興事業（県補助事業）（市単独事業）						
④ 集落機能の維持	＜公民館のあり方の検討＞ 公民館の使い勝手や老朽化への対応のみならず、広場のトイレの維持管理等を含め、公民館のあり方を移転も考慮しながら検討する。				組	地域支援課 支 所
	【目的】 公民館の今後の維持管理を含め、組の中心的な集会施設である公民館のあり方について総合的に検討する。					
	目標	H23	H24	H25	H26	H27
		検討				
	実績					
【活用できる市の制度・補助など】・地域集会施設整備事業						
⑤ 防災対策	＜防災対策の推進＞ 各世帯の地震・風水害対策について、情報交換を行い、各世帯の防災対策に役立てる。また、築羽自治区事業との連携や他の組等の取組を参考にしながら、組での防災対策を検討し、実施する。				組	防災防犯課
	【目的】 東海地震等の災害に備え、各世帯の防災意識の向上を図り、各世帯と組での対策の実施を行う。					
	目標	H23	H24	H25	H26	H27
			情報交換会 開催	生涯学習 出前講座	検討	対策の実施・継続
	実績					
【活用できる市の制度・補助など】・生涯学習出前講座						

	取 組 活 動 と 目 的				実施主体	支 援
⑥ 地域資源のPR	《名木の活用》 名木であるイチョウやスギを活用して、写真の撮影・展示等を実施する。				組	支 所
	【目的】 市指定の天然記念物である、イチョウやスギを今後も大切に保護するとともに組の魅力の一つとして外部へ発信する。					
	目 標	H23	H24 検討	H25 実施	H26 継続	H27
	実 績					
	【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業					

火きり神事の隠れ里

- ① 小さな集落でも、住民が生き生きと楽しく暮らしていきます。
- ② 地域に伝わる文化資源や伝統をできるかぎり伝承していきます。
- ③ 集落をより美しく魅力的なものにしていきます。

強 み

- ① 旭地区の中でも豊かな自然が多く残っている。
- ② 無形文化財である「火きり神事」が受け継がれている。
- ③ 住民が同年代の人が多く、仲良く暮らせている。親密別居者もいる。

弱 み

- ① 旭地区の一番小さな集落であって、高齢化が顕著である。
- ② 集落が他の地区と離れた高所にあり、冬場・災害時に孤立するおそれがある。
- ③ 高齢化により、草刈りや施設の維持作業に出役できない世帯がでている。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 携帯電話の通話状態の向上	＜携帯電話会社への働きかけ＞ 携帯電話が不自由なく使えるよう、携帯電話会社へ対策を働きかける。					組	携帯電話会社 支 所
	【目的】 携帯電話を町内で常時使えるようにして、災害等非常時の通信を確保する。また、坪崎を訪れる人たちの利便向上も図る。						
	目標	H23	H24 ・個別対応か基地局 対応か調査 ・電話会社へ 施設整備の要望	H25	H26	H27	実現に向けた取組
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】						
② 文化財の継承	＜火きり神事の継続＞ 無形文化財の火きり神事を、他の地域・神社の取組みを参考にし、交流を図ったり支援を受けたりして継続していく。					組	他地域の 取組団体 文化財課
	【目的】 無形文化財・坪崎町の拠り所でもある火きり神事を継続することにより、文化財の継承・地域の活力向上を図る。						
	目標	H23	H24 検討会の立上げ、 実施案の検討	H25	H26	H27	他地域の取組視察・交流 支援を受け神事を継続
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】・文化財保存事業費補助金						

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
③ ふれあいの場・健康づくり	＜地域ふれあいサロン・健康づくりを実施＞ 月に1回程度、みんなが集まりおしゃべりや健康体操を実施する。					組	地域保健課 ぬくもりの里
	【目的】 地域住民が仲間とふれあい、またいつまでも健康で暮らせるようみんなで健康づくりを行う。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							
④ 地域の情報発信	＜坪崎町文化資源の魅力を発信しよう！＞ ケンボナシやカヤの木・神社・火きり神事などの文化資源の魅力を 見直し、地域住民の心のよりどころとし、また坪崎ゆかりの人たちにも 魅力を伝えていく。 地域行事のスケジュールを区民やゆかりの人に共有してもらうため、 文化資源や神事の写真を入れたカレンダー兼予定表を作成し、配布する。					組	
	【目的】 坪崎町の魅力を関係者みんなで共有することにより、地域への愛着を深めていく。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							
⑤ 坪崎町の景観向上	＜坪崎町の景観アップ作戦＞ 地域内に花を楽しめるスポットを作ったり、街道沿いに植栽をしたり、 鑑賞会・イベントを行う。					組	公園緑地協会 公園課 ヤングオールド サポート センター
	【目的】 植栽により楽しめる花のスポットをつくることによって、地区内住民や訪れた人がふれあう機会を増やし、地域の活性化を図る						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】 ・特技登録制度 ・花のあるまちづくり事業補助金 ・花とみどりの相談							

十一面観音と榎本城址の里

- ① 榎本町を花のあふれる集落とし、老若男女が生き生きと暮らせる町を目指します。
- ② 今ある仲良しグループを発展させ、仲間づくりをより進めます。
- ③ 老人・子どもが仲良く暮らしていけるような居場所を作っています。

強 み

- ① 築羽地域では最も高齢化率が低く、跡取り世代の夫婦・子どもの定着もある。
- ② 農業・手仕事・文芸等に秀でた人材がいる。
- ③ 榎友会・たんぽぽの会など集落の同性的ななかよしグループがある。
- ④ 常福寺・榎本城址など文化的な資源がある。

弱 み

- ① 現在、築羽地域の中では低い高齢化率も、10年後には62%にも達する見込みで高齢化の進行が憂慮される。
- ② 介木川・日下部川が、増水時に危険である。
- ③ 高齢化により、草刈り・施設の維持作業に出役できない世帯がでている。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 老人・子どもの地域での見守り	＜老人・子どもの居場所づくり＞ 老人・子どもが空いた時間を一緒に過ごせるような機会・場所をつくる。					組	次世代育成課
	【目的】 老人・子どもが時間を共有することにより、お互いの張り合いや教える・教わる楽しみを感じてもらう。						
	目標	H23	H24 組織立上げ・検討 敷島放課後児童 クラブ発足(参考)	H25	H26	H27	
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】 ・地域子どもの居場所作り事業（子ども見守り隊事業）						
② 災害対策	＜災害危険箇所のチェック・対策の検討＞ 区域内の危険箇所を洗い出し、災害時要援護者登録支援・避難対策・災害時の行動マニュアル・危険箇所マップを作成する。					組	支 所 防災防犯課 自治区
	【目的】 安心・安全に暮らせる榎本町を作るために、住民みんなで災害対策を考える。						
	目標	H23	H24 検討会の立上げ、 実施案の検討	H25 要援護者の洗い出し、登録支援 危険箇所の洗い出し 避難訓練実施	H26 対策・マニュアル・マップ作成 避難訓練実施	H27 避難訓練実施	
	実績						
	【活用できる市の制度・補助など】 ・生涯学習出前講座						

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
③ 地域文化の伝承	＜榎本町文化資源の魅力を発信しよう！＞ 常福寺・榎本城・秋の大祭などの文化資源の魅力を再発見し、地域住民の心のよりどころとし、また榎本ゆかりの人たちにも魅力を伝えていく。（榎本の風景や文化資源の写真を使ったオリジナルのカレンダーを作成して地域住民やゆかりの人たちに配布するとか、祭りのあり方を考え若い人たちも参加しやすいような形態にかえていく。）					組	—
	【目的】 榎本の魅力をみんなで共有することにより、文化資源を後世に伝えていく。						
	目標	H23	H24 組織立上げ・検討	H25 カレンダーの作成・配布 祭りの見直し	H26	H27	
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							
④ 仲間づくり	＜榎友会・たんぼの会の持続・発展＞ 既存のグループのメンバー拡大や活動の充実を図る。（加入対象年齢を下げて若い世代を取り込んだり、出身者にも参加を促したり、新規の若い世代のグループを作るなど。）					組	—
	【目的】 他の集落にはない素敵なグループを発展的に持続させることにより、地域住民の融和を図り、また出身者もメンバーに加えるなどして「榎本人」を増やす。						
	目標	H23	H24 検討会の実施・手法の確立	H25 手法・プランの実施	H26	H27	
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】							
⑤ 榎本の景観向上	＜榎本町の景観アップ作戦＞ 地域内に花を楽しめるスポットを作ったり、街道沿いに植栽をしたり、鑑賞会・イベントを行う。（地域住民すべてをグループ化して、それぞれのグループで植栽・保全を行うなどし、みんなでの取り組みとする。）					組	支所 公園緑地協会 公園課 旭八幡町 ヤングオールド サポート センター
	【目的】 既存の草花を活用するとともに、植栽により楽しめる花スポットをつくることにより、地区内住民のふれあう機会を増やし地域の活性化を図る						
	目標	H23	H24 組織立上げ・検討 他の取組の視察（下中・杉本等）	H25 旭八幡町と鑑賞会共同実施の相談 景観アップ実施（植栽・保全）	H26	H27	
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・わくわく事業 ・特技登録制度 ・花とみどりの相談 ・花のあるまちづくり事業補助金							

余平組 集落ビジョン2011~2015

北向き地蔵さんと清流の里 余平町

- ① 日頃のつきあいを基本に、組のまとまりのよさを維持していきます。
- ② 豊かな自然環境を大切にしながら住みよいまちを目指します。
- ③ 元気な高齢者が安心して暮らせるまちづくりを進めます。

強 み

- ① 組としてのまとまりがよい。
- ② 美しい田園風景を始めとする自然環境がよい。
- ③ 北向き地蔵様など歴史と伝統が受け継がれている。

弱 み

- ① 後継者が戻ってくるか不明である。
- ② 行事の参加者が減少するなど伝統文化の継続が不安である。
- ③ 高齢者の増加が懸念される。

取 組 活 動 と 目 的						実施主体	支 援
① 福祉・防災の向上	《緊急時連絡先等の明確化の検討》 各世帯の緊急時の連絡先、かかりつけ医療機関、血液型等を明確にする方法などを検討する。					組	高齢福祉課 民生委員 防災防犯課
	【目的】 防災面や独居高齢者の見守りの観点から、各世帯の緊急時の連絡先等を明確にし、安心して暮らせるようにする。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			検討	決定取組活動の実施・継続			
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・災害時要援護者登録制度 ・危険箇所マップ作成							
② 健康づくり	《健康づくり活動の実施》 健康づくり活動（体操や散策など）やおしゃべりの会を公会堂で月1回程度実施する。					組	ぬくもりの里 地域保健課
	【目的】 高齢者を中心に健康づくり活動等を通して、住み慣れたところで今後も元気に暮らせるようにする。また、ふれあい・情報交換の場とする。						
	目標	H23	H24	H25	H26	H27	
			検討 (地域ふれあい サロン等)	決定取組活動実施・継続			
	実績						
【活用できる市の制度・補助など】・地域ふれあいサロン ・里山健康学び舎教室							

取 組 活 動 と 目 的					実施主体	支 援
③ 組のあり方	＜組の役員などのあり方の検討＞ 組長の業務の軽減を図るなど、他の組の実例を見聞きしながら組の役員などのあり方を検討する。				組	—
	【目的】 役員の担い手が減少する見込みの中で、役員の負担が増加しないように役員のあり方を検討し、住みやすい組運営を図る。					
	目標	H23	H24	H25	H26	H27
		検討 (組長業務等)		他の組の 状況調査	検討 (役員業務)	実施、見直し
	実績					
【活用できる市の制度・補助など】						
④ 農地保全	＜集落ぐるみの農地保全の検討＞ 各世帯でできる限り耕作を継続するとともに、中山間地域等直接支払制度の活用など集落全体で農地を保全する活動について検討する。				組	農政課 旭地域営農 協議会
	【目的】 今後、高齢化による耕作放棄等が懸念されるので、集落全体での農地保全について検討する。					
	目標	H23	H24	H25	H26	H27
		各世帯での耕作継続				
		検討	決定取組活動の実施・継続			
実績						
【活用できる市の制度・補助など】・中山間地域等直接支払制度 ・集落営農						
⑤ 関係者との交流	＜余平町出身者等との交流＞ 余平町出身者やその関係者などに声をかけ、秋の大祭やお地藏様のお祭りなどの行事に参加してもらいながら、交流を深める。				組	—
	【目的】 現在実施されている行事を継続し、出身者等と呼び込むことでつながりを深め、今後の担い手づくりの契機とする。					
	目標	H23	H24	H25	H26	H27
			検討 (行事予定表等)	決定取組活動 の実施	継続	
		出身者等への声かけ実施・継続				
実績						
【活用できる市の制度・補助など】						

集落ビジョン作成のための軌跡 (集落懇談会参加者実績)

自治 区名	組 名	第1回目				第2回目				第3回目				計		
		開催日	参加人数	(男性)	(女性)	開催日	参加人数	(男性)	(女性)	開催日	参加人数	(男性)	(女性)	参加人数	(男性)	(女性)
浅野 自治区	浅 谷	11/14 (月)	24	17	7	12/12 (月)	12	8	4	1/24 (火)	18	12	6	54	37	17
	一 色	11/16 (水)	11	6	5	12/11 (日)	12	6	6	1/29 (日)	11	6	5	34	18	16
	上 切	11/14 (月)	9	8	1	12/18 (日)	10	10	0	1/22 (日)	14	14	0	33	32	1
	上 中	11/19 (土)	10	7	3	12/ 4 (日)	9	7	2	1/22 (日)	5	4	1	24	18	6
	島 崎	11/18 (金)	9	9	0	12/10 (土)	7	7	0	1/22 (日)	6	6	0	22	22	0
	下 切	11/19 (土)	11	10	1	12/14 (水)	9	9	0	1/27 (金)	8	8	0	28	27	1
	下 中	11/16 (水)	16	11	5	12/16 (金)	10	8	2	1/29 (日)	14	10	4	40	29	11
	須 淵	11/17 (木)	16	12	4	12/16 (金)	13	11	2	1/26 (木)	8	6	2	37	29	8
	小 計		106	80	26		82	66	16		84	66	18	272	212	60
小渡 自治区	小 渡	11/22 (火)	30	24	6	1/12 (木)	19	18	1	2/14 (火)	18	16	2	67	58	9
	閑羅瀬	11/20 (日)	10	7	3	12/18 (日)	10	7	3	2/19 (日)	11	6	5	31	20	11
	田津原	11/30 (水)	10	8	2	12/26 (月)	14	12	2	2/ 9 (木)	7	5	2	31	25	6
	時 瀬	11/27 (日)	17	12	5	12/21 (水)	10	7	3	2/26 (日)	8	7	1	35	26	9
	万 町	11/28 (月)	7	4	3	12/11 (日)	14	10	4	2/12 (日)	9	8	1	30	22	8
	小 計		74	55	19		67	54	13		53	42	11	194	151	43
笹戸 自治区	有 間	11/26 (土)	15	13	2	1/13 (金)	11	11	0	2/24 (金)	14	10	4	40	34	6
	池 島	11/25 (金)	12	12	0	12/22 (木)	8	8	0	2/ 3 (金)	8	8	0	28	28	0
	市 平	12/ 8 (木)	7	6	1	1/ 8 (日)	9	8	1	2/12 (日)	7	6	1	23	20	3
	笹 戸	11/14 (月)	14	14	0	1/22 (日)	11	11	0	2/21 (日)	10	10	0	35	35	0
	小 計		48	45	3		39	38	1		39	34	5	126	117	9
敷島 自治区	明 賀	11/10 (木)	12	5	7	12/18 (日)	15	9	6	省略	0			27	14	13
	太 田	11/26 (土)	30	20	10	省略	0			1/28 (土)	25	18	7	55	38	17
	大 坪	11/20 (日)	14	11	3	12/18 (日)	13	10	3	2/12 (日)	12	9	3	39	30	9
	押 井	11/20 (日)	27	23	4	省略	0			2/25 (土)	22	22	0	49	45	4
	加 塩	12/ 6 (火)	10	8	2	省略	0			2/12 (日)	13	12	1	23	20	3
	小 田	11/24 (木)	8	7	1	省略	0			2/28 (火)	6	6	0	14	13	1
	榊 野	11/30 (水)	14	13	1	1/10 (火)	17	10	7	2/20 (月)	14	9	5	45	32	13
	杉 本	11/15 (火)	16	15	1	1/21 (土)	3	3	0	2/25 (土)	4	4	0	23	22	1
	東萩平	11/19 (土)	10	8	2	1/21 (土)	11	1	10	2/18 (土)	8	8	0	29	17	12
	小 計		141	110	31		59	33	26		104	88	16	304	231	73
築羽 自治区	旭八幡	11/20 (日)	6	6	0	12/22 (木)	6	5	1	2/10 (金)	6	5	1	18	16	2
	伊 熊	11/18 (金)	12	11	1	12/19 (月)	12	11	1	2/24 (金)	16	14	2	40	36	4
	伯母沢	12/ 4 (日)	12	7	5	1/29 (日)	9	7	2	3/ 4 (日)	9	6	3	30	20	10
	日下部	11/19 (土)	14	10	4	12/10 (土)	10	7	3	3/ 3 (土)	9	7	2	33	24	9
	小 畑	11/20 (日)	14	10	4	1/15 (日)	11	9	2	2/26 (日)	10	10	0	35	29	6
	惣 田	12/ 4 (日)	15	14	1	1/22 (日)	12	10	2	3/ 4 (日)	13	13	0	40	37	3
	坪 崎	11/26 (土)	5	4	1	12/24 (土)	5	4	1	2/25 (土)	5	3	2	15	11	4
	模 本	12/11 (日)	12	7	5	1/15 (日)	12	7	5	2/15 (水)	10	4	6	34	18	16
	余 平	11/27 (日)	11	10	1	12/25 (日)	11	10	1	2/19 (日)	11	10	1	33	30	3
	小 計		101	79	22		88	70	18		89	72	17	278	221	57

合計 1174 932 242

旭地区まちづくり計画
〔2011～2020〕

集落ビジョン2011～2015

発行 旭 地 域 会 議
2012（平成24年）3月